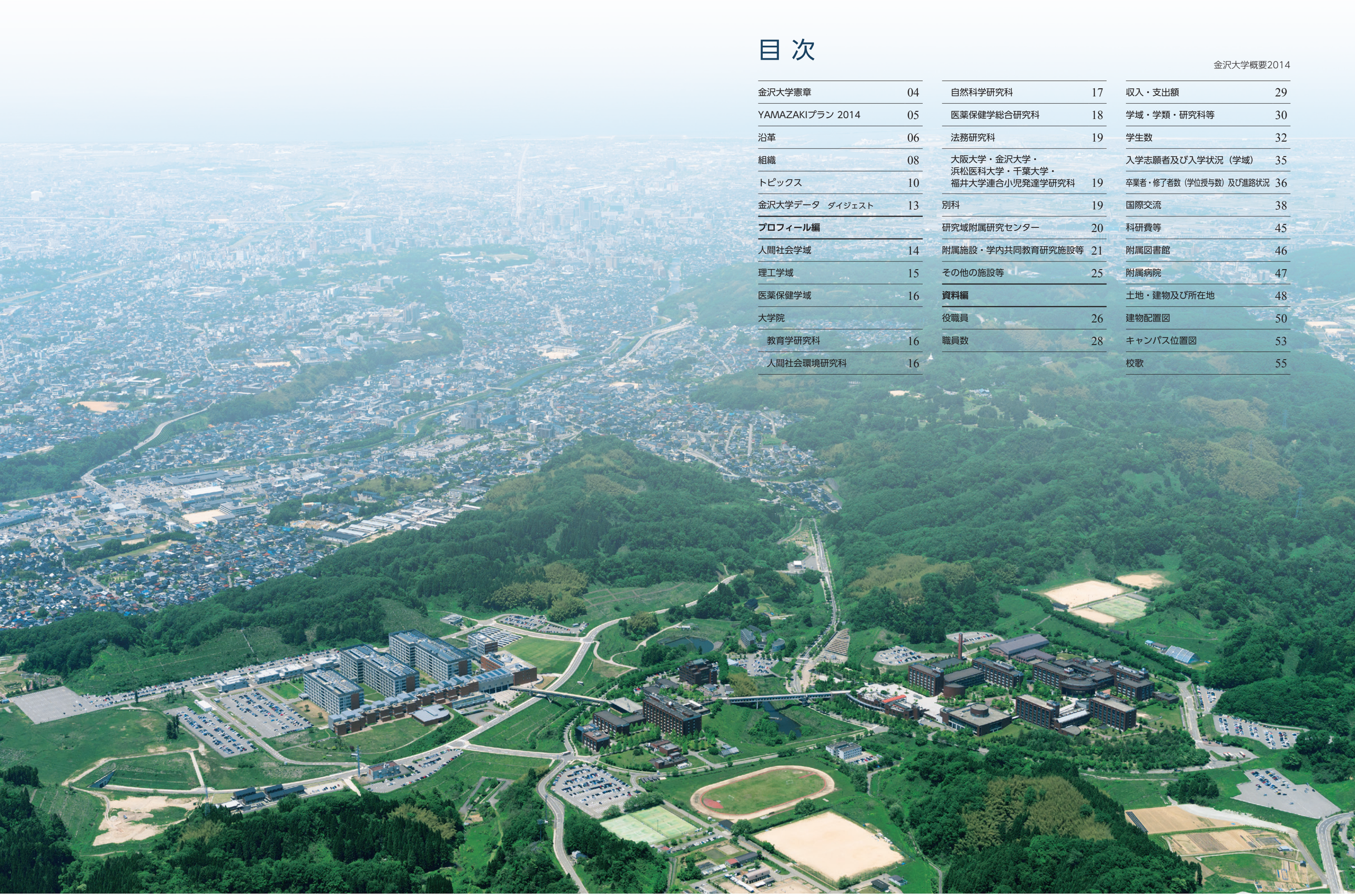
金沢大学概要

OUTLINE OF KANAZAWA UNIVERSITY

2014

目 次

金沢大学憲章	04
YAMAZAKIプラン 2014	05
沿革	06
組織	08
トピックス	10
金沢大学データ　ダイジェスト	13
プロフィール編	
人間社会学域	14
理工学域	15
医薬保健学域	16
大学院	
教育学研究科	16
人間社会環境研究科	16
自然科学研究科	17
医薬保健学総合研究科	18
法務研究科	19
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科	19
別科	19
研究域附属研究センター	20
附属施設・学内共同教育研究施設等	21
その他の施設等	25
資料編	
役職員	26
職員数	28
収入・支出額	29
学域・学類・研究科等	30
学生数	32
入学志願者及び入学状況（学域）	35
卒業者・修了者数（学位授与数）及び進路状況	36
国際交流	38
科研費等	45
附属図書館	46
附属病院	47
土地・建物及び所在地	48
建物配置図	50
キャンパス位置図	53
校歌	55



土地面積　2,667,258m²
建物面積　535,966m²

金沢大学憲章

学長　山崎 光悦

人類は長い歴史の中で，創造と破壊を繰り返しながらも自然及び社会の諸現象に対する理解を深め，公共性の高い文化を育んできた。学術研究を預かる大学は，知の創造と人材の育成をもって世代を繋ぎ多様な社会の形成と発展に貢献してきた。そして世界は今や国家の枠を越え，多くの人々が地球規模で協同する時代を迎えている。

前身校の歴史を引き継ぎ1949年に設立された金沢大学は，戦後の激動の時代を歩み，我が国と世界の発展に一定の役割を果たしてきたが，国立大学法人となるこの機会に，「社会のための大学」とは何であるかを改めて問い質さねばならない。

金沢大学は，本学の活動が21世紀の時代を切り拓き，世界の平和と人類の持続的な発展に資するとの認識に立ち，「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の位置付けをもって改革に取り組むこととし，その拠って立つ理念と目標を金沢大学憲章として制定する。

教 育

■金沢大学は，各種教育機関との接続，社会人のリカレント教育，海外からの留学，生涯学習等に配慮して，多様な資質と能力を持った意欲的な学生を受け入れ，学部とそれに接続する大学院において，明確な目標をもった実質的な教育を実施する。

■金沢大学は，学生の個性と学ぶ権利を尊重し，自学自習を基本とする。また，教育改善のために教員が組織的に取り組むFD活動を推進して，専門知識と課題探求能力，さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材を育成する。

研 究

■金沢大学は，真理の探究に関わる基礎研究から技術に直結する実践研究までの卓越した知の創造に努め，それらにより新たな学術分野を開拓し，技術移転や産業の創出等を図ることで積極的に社会に還元する。

■金沢大学は，人文社会，自然科学及び医学の学問領域や，基礎と応用など研究の性格にかかわらず，構成員が学問の自由と健全な競争をもって主体的に研究を進める環境を整備する。また，萌芽的研究や若手研究者の育成に努め，常に新しさに挑戦し個性を引き出す体制を維持する。

社会貢献

■金沢大学は，本学の有する資源を活用し，地域における学術文化の発展と教育・医療・福祉等の基盤づくりに貢献し，北陸さらには東アジアにおける知の拠点として，グローバル化の進む世界に向けて情報を発信する。

■金沢大学は，入学前から卒業後に及ぶ学生教育の拡大，研究成果である知的財産の発掘・管理と社会への積極的な還元，さらには高度先端医療の発展と普及に努め，「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の責務に応える。

運 営

■金沢大学は，それぞれの部局が専門性と役割に基づき独自性を発揮しつつ，全学的にそれらを有機的に連関させ，自主的・自律的に運営する。また，計画の達成度を評価し，組織・制度の見直しを含めて不断の改革を進める。

■金沢大学は，国からの交付と自己収入から成る資金を厳格かつ計画的に活用するとともに，人権を尊重し，すべての構成員が職務に専念できる安全な環境を提供する。また，公共に奉仕する国立大学法人としての社会的な説明責任に応える。

YAMAZAKI プラン 2014

～金沢大学新ストラテジー～

金沢大学は，「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の位置づけをもって，グローバル社会をリードする人材の育成と世界に通用する研究拠点の形成を目標に定め，〈先魁・共存・創造〉というコンセプトのもと，2014年度からの4年間に，次に掲げる改革を全学を挙げて断行し，「世界に誇る金沢大学」を実現します。

教育改革
- グローバル化する社会を積極的にリードする人材の育成
- 学域学類制の深化と共通教育の刷新
- 「教育重視の研究大学」にふさわしい大学院教育の高度化
- 入学から卒業までの徹底した学生支援

研究推進
- 先進的・独創的研究の推進および多様な基礎研究の充実
- 研究力強化を促進する体制の整備および産学官・地域連携の強化

国際化
- 大学の国際化・グローバル化の推進による教育研究力の向上

社会貢献
- 地域・社会とともにある大学

医療・病院マネジメント
- 臨床研究の推進と先進的医療を担う人材育成
- 健全な大学病院経営と地域中核病院としての社会貢献

組織・人事制度
- 大学改革・機能強化を推進する大学運営

財務
- 戦略的・効果的な財政運営の推進

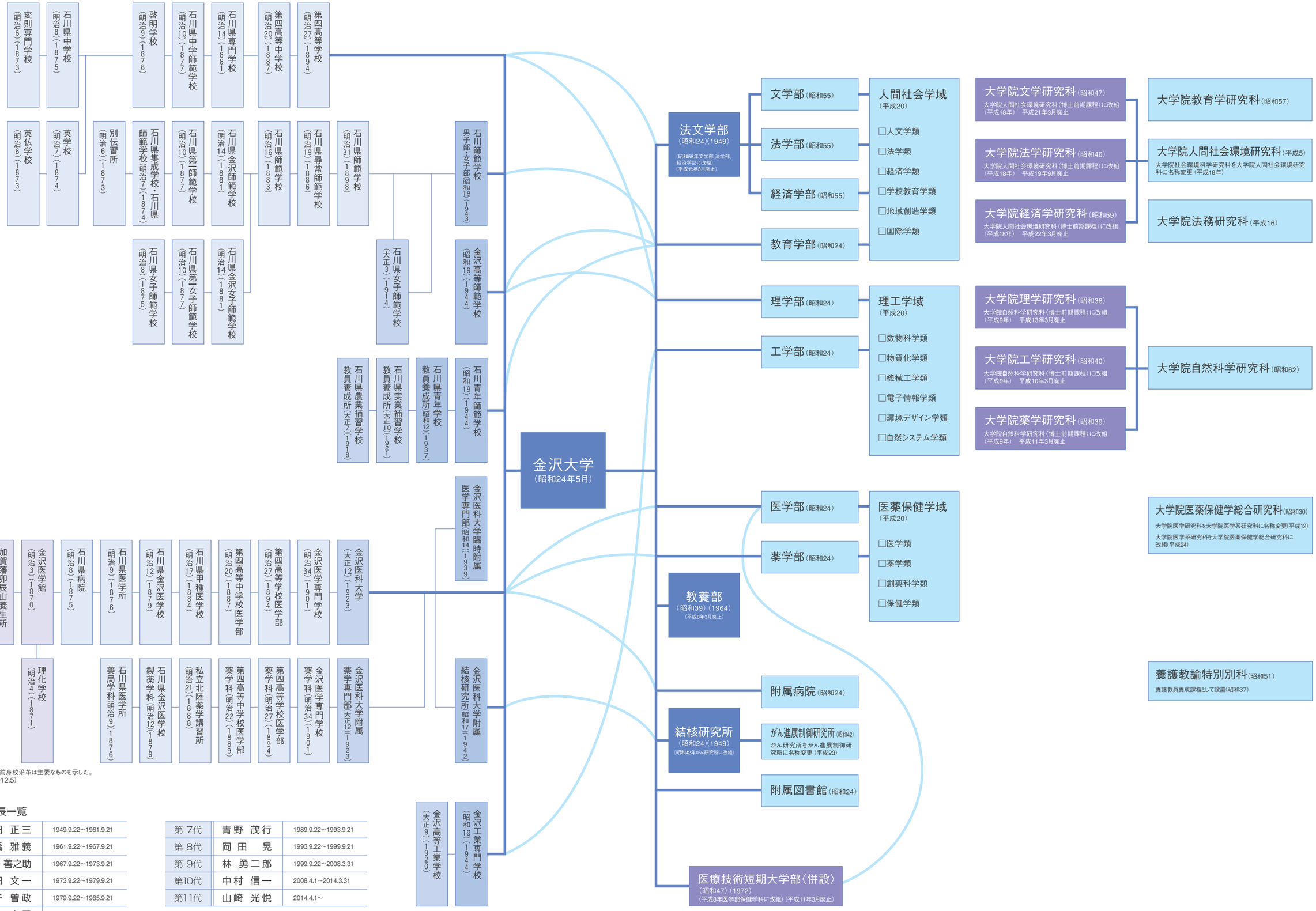
施設整備
- グローバル化に対応した教育研究環境の確保

情報基盤整備
- 安全・安心な情報環境の提供
- 附属図書館・資料館の教育研究活動支援機能の強化

同窓会・基金
- 同窓会との相互支援による教育・研究・社会貢献活動の充実

教員評価・将来計画
- 教員評価制度の活用と将来計画の策定・実行

沿革



※昭和24年（1949）以前の前身校沿革は主要なものを示した。
金沢大学資料館監修（2012.5）

金沢大学歴代学長一覧

初代	戸田　正三	1949.9.22～1961.9.21
第 2代	石橋　雅義	1961.9.22～1967.9.21
第 3代	中川 善之助	1967.9.22～1973.9.21
第 4代	豊田　文一	1973.9.22～1979.9.21
第 5代	金子　曽政	1979.9.22～1985.9.21
第 6代	本陣　良平	1985.9.22～1989.9.21
第 7代	青野　茂行	1989.9.22～1993.9.21
第 8代	岡田　晃	1993.9.22～1999.9.21
第 9代	林　勇二郎	1999.9.22～2008.3.31
第10代	中村　信一	2008.4.1～2014.3.31
第11代	山崎　光悦	2014.4.1～

組 織

運営組織

- 監 事
  - 法人監査室
- 学長秘書室
- グローバル人材育成推進機構
- 学長
- 役員会
  - 教育研究評議会
  - 経営協議会
  - 大学改革推進委員会
- 理事（総括・改革・研究・財務担当）
  - 研究企画会議
  - 財務施設企画会議
  - 先端科学・イノベーション推進機構
  - 研究戦略室
  - 産学官連携推進本部
- 理事（教育担当）
  - 教育企画会議
- 理事（国際・附属病院・同窓会担当）
  - 国際企画会議
  - 病院企画会議
  - 国際機構
- 理事（企画評価・情報・社会貢献担当）
  - 情報企画会議
  - 情報戦略本部
- 理事（総務・人事・施設担当）
  - 総務企画会議
  - 財務施設企画会議
- 理事（特命担当）

事務組織

- 財務部
  - 財務企画課
  - 財務管理課
- 研究推進部
  - 研究推進課
  - 産学連携課
- 学生部
  - 学務課
  - 学生支援課
  - 入試課
- 病院部
  - 総務課
  - 経営管理課
  - 医事課
- 基金室
- 学友支援室
- 国際機構支援室
- 情報部
  - 情報企画課
  - 情報サービス課
- 企画評価室
- 総合相談室
- 情報化推進室
- 総務部
  - 総務課
  - 人事課
  - 広報室
  - 地域連携推進室
- 施設部
  - 施設企画課
  - 施設管理課
- 人間社会系事務部
  - 総務課
  - 会計課
  - 学生課
- 理工系事務部
  - 総務課
  - 会計課
  - 学生課
- 医薬保健系事務部
  - 総務課
  - 会計課
  - 学生課
  - 薬学・がん研支援課

教育研究組織

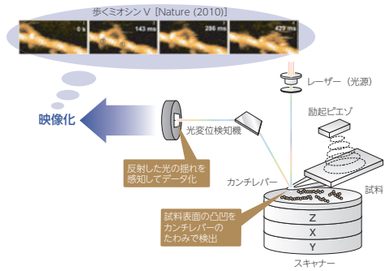
- 学士
  - 人間社会学域
    - 人文学類
    - 法学類
    - 経済学類
    - 学校教育学類
      - 附属教育実践支援センター
      - 附属幼稚園
      - 附属小学校
      - 附属中学校
      - 附属高等学校
      - 附属特別支援学校
    - 地域創造学類
    - 国際学類
  - 理工学域
    - 数物科学類
    - 物質化学類
    - 機械工学類
    - 電子情報学類
    - 環境デザイン学類
    - 自然システム学類
  - 医薬保健学域
    - 医学類
    - 薬学類
    - 創薬科学類
      - 附属薬用植物園
    - 保健学類
- 大学院
  - 教育学研究科（修士課程）
    - 養護教諭特別別科（1年制）
  - 人間社会環境研究科（博士課程（前期・後期課程））
    - 人間科学系
    - 歴史言語文化学系
    - 法学系
    - 経済学経営学系
    - 学校教育学系
    - 地域政策研究センター
    - 国際文化資源学研究センター
  - 自然科学研究科（博士課程（前期・後期課程））
    - 数物科学系
    - 物質化学系
    - 機械工学系
    - 電子情報学系
    - 環境デザイン学系
    - 自然システム学系
    - バイオAFM先端研究センター
    - サステナブルエネルギー研究センター
  - 医薬保健学総合研究科（修士課程、博士課程（前期・後期課程、医学4年の課程、薬学4年の課程））
    - 医学系
    - 薬学系
    - 保健学系
    - 健康増進科学センター
    - 脳・肝インターフェースメディシン研究センター
    - 革新予防医科学教育研究センター
  - 法務研究科（専門職学位課程）
- 別科
- 研究域
  - 人間社会研究域
  - 理工研究域
  - 医薬保健研究域
- 附置研究所
  - がん進展制御研究所
- 附属病院
- 附属図書館
- 学内共同教育研究施設
  - 地域連携推進センター
  - 学際科学実験センター
  - 総合メディア基盤センター
  - 外国語教育研究センター
  - 環日本海域環境研究センター
  - 大学教育開発・支援センター
  - 環境保全センター
  - 子どものこころの発達研究センター
- 保健管理センター
- 共通教育機構
- グローバル人材育成推進機構
- 先端科学・イノベーション推進機構
- 国際機構
- 学内共同利用施設
  - 極低温研究室
  - 資料館
  - 埋蔵文化財調査センター
  - 技術支援センター
- 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー

世界に誇れる日本を代表する多くの研究成果

TOPICS

世界最先端AFM技術によるナノバイオロジー研究

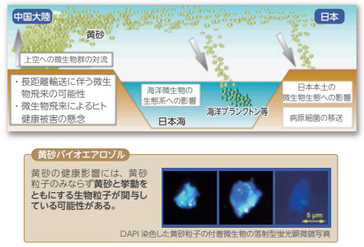
理工研究域数物科学系の安藤敏夫教授を中心とするグループは，機能活動中の個々のタンパク質分子を高解像，かつリアルタイムに直接撮影可能な高速原子間力顕微鏡（高速AFM）を開発することに成功しました。タンパク質はほとんどすべての生命現象を担っており，その機能メカニズムを理解することは生命科学の最重要課題の一つです。高速AFM誕生以前は，タンパク質分子を間接的にしか観察することができず，機能メカニズムを詳しく知ることは困難でした。安藤グループは機能活動中のタンパク質分子の撮影に成功したことで数々の重要な発見をし，これらの先駆的成果は『Nature』や『Science』などの科学誌に掲載され，多くの賞を受賞しました。現在，高速AFMのバイオ応用研究，さらに高度な技術開発を行い，新しい生命科学の創成を目指しています。



AFMで見た歩くタンパク質

発達・学習・記憶と障害の革新脳科学の創成

子どものこころの発達研究センターの東田陽博特任教授を中心とする研究グループは，神経内分泌物質であるオキシトシンが知的障害を有する自閉症スペクトラム障害（ASD）を改善する可能性を見出しました。現在治療効果を科学的に調べる臨床試験研究を行い，オキシトシン補充治療を確立・定着する研究を進めています。また，オキシトシンと脳の回路形成に関する遺伝学的・生物学的研究や，ASD診断機器の開発も行っています。さらに，自閉症を含む広汎性発達障害の研究を軸とした文理架橋型の脳革新領域の研究を総合的に展開し，将来的には，障害を引き起こす分子機能の解明，成果の社会還元，自閉症の治療研究を円滑に行うことを目指しています。



大気観測によるバイオエアロゾル採取調査

環日本海域に見る土地・海・風の環

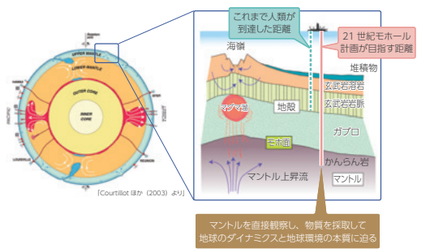
日本海はその周辺国だけではなく，アジア大陸からの影響も大きく受けていることが明らかになってきています。この日本海の特性を能登半島という地理的特徴を活用した研究を通じて，自然科学的な立場から解明しています。そのために，能登半島の先端に世界基準の大気観測・能登スーパーサイトを立ち上げ，研究拠点として学内外の研究者に開放しています。研究チームは大気エアロゾルの気候への影響だけではなく人間の健康影響に関する研究や日本海の物質動態などの研究を行い，本学の特色ある教育へ還元しています。

人類の課題「生活習慣病克服」の夢を現実に

医薬保健研究域医学系の金子周一教授らの研究グループは，肝臓の約1000万におよぶ遺伝子情報を調べ上げ，肝臓機能の異常に関連する遺伝子約70種を突き止めました。今世紀最大の課題とされている生活習慣病克服の可能性を秘めた独自の研究に世界が注目しており，我が国最高ランクの補助金を得て，異常な遺伝子の発現機構や他の遺伝子との関連を調べています。また、血液の遺伝子発現変化を解析するという，従来の腫瘍マーカー測定法とは全く異なる画期的ながん検出方法を開発したことで，2013年に全国発明表彰を受けました。医薬保健研究域附属脳・肝インターフェースメディシン研究センターを拠点とする新たな研究として、本学発の脂肪組織由来間葉系幹細胞を用いた肝再生療法の世界初の臨床開発研究もスタートしています。

海洋掘削がひらく新たな地球への窓— モホールを支える海洋地球科学の拠点形成

自然システム学系の荒井章司特任教授を中心とする研究チームは，近い将来実施される「21世紀モホール計画」（地球マントルまでのボーリングによるマントルのその場観察や，マントル試料の持ち帰りを目的としている）を見越し，モホール計画を科学的に支援する総合的科学「モホール・サイエンス」の確立を目指し研究を行っています。地殻が薄く「地球深部への窓」としての特性を持つ“海洋底”を主たる対象として，地球の地殻・マントル系の構成とそれを形成する物質循環の解明，および「海洋底の化石」とされるオフィオライトの調査研究を中東オマーンを拠点に進めています。



海洋底から地球内部を掘削する21世紀モホール計画

マヤ文明の世界遺産における文化資源学プロジェクト

「ティカル国立公園」は，グアテマラ共和国の北部に位置する世界複合遺産です。ティカルは中米に広がるマヤ文明の遺跡群の一つで，紀元250～900年の古典期と呼ばれる時代にマヤ文明の中心にして最大の都市でした。公園内には日本政府が建設しグアテマラ政府に寄贈した「ティカル国立公園文化遺産保存研究センター」があります。金沢大学は2011年にグアテマラ文化スポーツ省文化自然遺産副省と交流協定を締結し，人間社会研究域附属国際文化資源学研究センターの中村誠一教授の指揮のもと，ティカルで発掘調査を含む総合的な学術調査とマヤ文明世界遺産の保存と活用のための研究を行っています。2013年からは隣国ホンジュラス共和国の世界文化遺産「コパンのマヤ遺跡」においても，博物館展示を通した文化資源の保存と活用のための研究と教育を進めています。

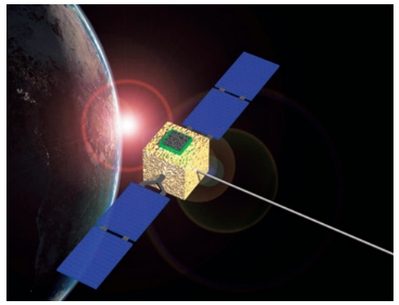
コパンのマヤ遺跡「ジェナルの壁面装飾」

「先導的共同研究拠点」がん進展制御研究所

2011年4月に「金沢大学がん進展制御研究所」へと改称し，同時に文部科学省から「がんの転移・薬剤耐性に関わる先導的共同研究拠点」として認定され，共同利用・共同研究拠点としての活動を開始しました。 社会の高齢化に伴いがん罹患者数は増加し，十数年後には国民の2人に1人ががんで亡くなると言われており，がんの克服は健康長寿社会の実現のために喫緊の課題です。そのために本研究所では，医学・薬学・獣医学および理工学系の幅広い分野の研究者が集結し，がんの悪性化機構の本態解明とその制御による先制医療の実現を目指した研究を推進しています。共同利用・共同研究拠点の認定を契機に，さらに幅広い分野の研究者との連携のもと，がんの「悪性進展」過程の国際的研究拠点の形成を目指し，がんの克服につながる研究の推進に向けて研究所員一同が全力で取り組んでいます。

手作り人工衛星による先端宇宙理工学教育プログラム

本学の理工研究域では，2014年度から，超小型衛星（金沢大学衛星）の開発をテーマとした理工融合の教育事業「手作り人工衛星による先端宇宙理工学教育プログラムの構築」を展開しています。そこでは，大学院生に対して，超小型衛星の設計・製作を通じて最先端の宇宙理工学を重点的に学べるカリキュラムおよび教育環境を整備します。理工一体の総合科学技術およびプロジェクト・マネジメントのスキルを身に付けた先端的職業人を組織的に育成すると同時に，安価で実用的な超小型衛星の工学的実証を目指します。また本学が持つ世界最高水準の放射線および電波観測装置を超小型衛星に搭載することで，迅速かつタイムリーな宇宙観測による学術的成果の創出が期待されます。


金沢大学衛星（イメージ）

センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム

2013年革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）に2つの研究プロジェクトが採択されました。

「革新材料による次世代インフラシステムの構築～安全・安心で地球と共存できる数世紀社会の実現～」では他大学，企業，県や地方公共団体とともに参画し，理工研究域の研究者が中心となって，イオン液体を用いたバイオリファイナリー技術による革新材料と革新製造プロセス技術の研究開発を進めています。

また，本学子どものこころの発達研究センターでは「人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力増進／豊かな社会の構築」のサテライト拠点として，幼少期から脳の個性を考慮し，人間力を伸ばすシステムを開発しています。さらに日本で唯一の幼児用脳磁図計（脳センシング技術）を活用し，脳科学的観点から，子どもの健やかな心の育成する研究に取り組んでいます。

博士課程教育リーディング・プログラム「文化資源マネージャー養成プログラム」

このプログラムは人間社会環境研究科に設置された5年一貫の特別プログラムで，人類の有形無形の多彩な文化遺産を未来社会に向けた人類共有の資源ととらえ，その有効な保存・継承・活用策を見いだし管理運営に携われるような専門家である“文化資源マネージャー”の養成を目指します。各学年は4名の日本人学生と，4校のアジア協定校から推薦された4名の留学生からなり，その5カ国8名の同期生がチームのようにキャンパスやフィールドで勉学を重ねる中で，多文化共生を実体験しつつ文化資源の共用に向けた具体策を探っていきます。卒業した学生が，アジアの，ひいては世界の文化ネットワークを打ち立てて活躍するのが本プログラムの目標です。

三大学（金沢大学・千葉大学・長崎大学）による革新予防医科学共同大学院（仮称）の設置計画を推進

医療費の増加や生活習慣病，免疫疾患，精神・神経疾患に伴う社会的損失の増加，さらには疾患の慢性化による罹患者のQOL低下など，地球規模で生じている諸課題の解決のため，0次予防から3次予防を包括的に取扱う新しい予防医科学を創出・実践できる人材の育成を目的とし，革新予防医科学共同大学院（仮称）の設置計画を推進しています。

本共同大学院は2016年4月の設置を目指し，文部科学省の国立大学改革強化推進事業（2012年度）により，金沢大学・千葉大学・長崎大学の三大学が連携して準備に取り組んでいます。

未来医療研究人材養成拠点形成事業

本学は，2013年度から5年間の予定で文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業」に採択されました。この事業は，世界の医療水準の向上および日本の医療産業の活性化に多大に貢献するため，世界の最先端の研究・開発をリードし，将来的にその成果を国内外に普及できる実行力を備えた人材を養成することを目的としており，本学では2014年度から医薬保健学総合研究科医学博士課程に特別コースとして，「メディカルイノベーションコース」を開講しました。学内外，国内外の機関や企業の協力を得て，医薬品，医療機器，診療技術の開発や規制に必要な知識や思考法を講義や演習により教育し，研修を行います。また，外国人に対する医療行為や，海外の医療機関・研究機関との間での情報の交換に必要な実践英語の教育を外国人教師によって行います。

文科省COC事業に採択　地域のための大学へ，高まる期待

2013年8月，文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」に本学のプログラムが採択されました。

教育，研究，社会貢献の側面から，総合大学の強みを発揮しながら，地域を知り地域と共に歩く人材を育成し，地域と丁寧な対話による地域課題の解決に寄与するとともに社会人の学びの場を提供することにより，本学の「知」を活用した地域の拠点を整備します。地域志向の教育・研究・社会貢献を複合的に発展させることにより，少子化・高齢化など当該地域の課題解決を起点として，将来的にはグローバルな課題解決につなげていくことを目指します。

北陸初の女性研究者ネットワークを構築

本学は，2013年度に文部科学省 科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（拠点型）」に採択されました。北陸地域の高等教育機関，公設試験研究所，企業等からなる，北陸初の女性研究者ネットワーク（Hokuriku Women Researchers'Network（HWRN））を構築し，女性研究者支援の普及に取り組んでいます。さらに，地域が一体となって「地域で活躍し世界に情報発信できる女性研究者リーダー」を育成し，北陸地域全体の研究活動活性化に寄与することを目指しています。また，2013年度に女性研究者の優れた研究成果をたたえる中村賞（金沢大学女性研究者賞）を創設しました。この制度は，優れた業績を挙げた女性研究者を顕彰することで，受賞者とこれに続く若手女性研究者の励みとし，教育研究の将来を担う人材の育成等を目的としています。

グローバル人材育成のためのシームレスな高大連携モデルを研究開発

人間社会学域学校教育学類附属高等学校は，文部科学省の「スーパーグローバルハイスクルール」（SGH）研究校に指定され，「東アジアの知の拠点」を大学憲章に定める金沢大学の全面的な支援のもと，「北陸からイノベーションで世界を変えるグローバル・リーダー」を育成するためのシームレスな高大連携プログラムのモデルを開発し，全国に提案します。このプログラムは，金沢大学の「グローバル人材育成推進機構」に位置付けられ，学類・機構・センターのみならず北陸先端科学技術大学院大学や東アジアの拠点大学と連携し，北陸の地域課題からグローバル課題へと拡大する四つの課題研究：「地域課題研究」，「異文化研究」，「グローバル提案」，「グローバル・キャリアパス」に取り組み，グローバル化に対応できる有為な高校生と高等学校教員を育成します。

金沢大学データ

2014年5月1日現在

●淵源：1862年　加賀藩彦三種痘所

●教職員数：2,723人
役員9人，教育研究職員1,207人，事務職員417人，技術職員1,090人

●予算：総額53,356百万円（2014）

●面積：約267万㎡
角間キャンパス2,008,565㎡，宝町・鶴間キャンパス151,053㎡，その他507,640㎡

●組織
3学域・16学類：
人間社会学域　人文学類，法学類，経済学類，学校教育学類，地域創造学類，国際学類
理　工　学域　数物科学類，物質化学類，機械工学類，電子情報学類，環境デザイン学類，自然システム学類
医薬保健学域　医学類，薬学類，創薬科学類，保健学類
5研究科：
教育学研究科，人間社会環境研究科，自然科学研究科，医薬保健学総合研究科，法務研究科
その他：
がん進展制御研究所，附属病院　等

【教育】
- **学生数：10,328人**
  学士課程7,932人，大学院（修士・博士前期）1,344人，大学院（博士・博士後期）975人，専門職大学院50人，養護教諭特別別科27人
- **入学者数：1,775人**　北陸3県出身　約50％
- **卒業者数：1,831人　累計：84,096人**　　学士課程卒業生の約30％が大学院等へ進学
- **蔵書数：186万冊**　　電子ジャーナル7,617タイトル

【研究】
- **学術論文数：8,036件**（2003-2013）
- **学術論文被引用数：106,981件**（2003-2013）
  国内20位，世界558位，地球科学分野 国内12位，臨床医学分野 国内13位
- **科研費：751件　1,816百万円**（2013実績）
- **共同受託研究等数：共同研究 215件 281百万円，受託研究 184件 963百万円，寄附金 2,332件　1,413百万円**（2013実績）
- **特許出願件数：53件**（2013実績）

【国際】
- **交流協定校数：192機関（40か国1地域）**
  大学間交流協定校134機関（35か国1地域），部局間交流協定校　58機関（19か国1地域）
- **外国人留学生数：495人**
- **海外派遣学生数：235人**（2013実績）
- **外国人研究者等受入数：226人**（2013実績）
- **日本人研究者等海外派遣数：1,397人**（2013実績）

【社会貢献】
- **自治体等との協定数：17件**
- **公開講座数：25講座**（2014）

【大学ランキング】
- **上海交通大学（2013）：国内 16-20位，世界 401-500位**
- **Quacquarelli Symonds Ltd.：国内 16位，アジア圏（2014）67位**
- **Times Higher Education（2013-2014）：国内 19位，アジア圏 96位**

人間社会学域

人文学類

高度専門化・分業化する現代社会だからこそ全体を俯瞰する
総合的・学際的なゼネラリストを養成する

思想・歴史・文化・文学・言語などの研究を通して，人間の行動や思考・創造のあり方を考えます。その研究教育の対象は，心理学からフィールド文化学，人間科学，歴史文化学，言語文化学と多岐にわたっています。
総合的・学際的視野を持つゼネラリストを養成するために，5つのコースと15の専門分野を設け，コース・専門分野の所属は2年進級時に決定します。副専攻制度の導入など選択の幅を広げ，研究志望や人生設計に対応した教育を行っています。

法学類

よりよい社会実現のために，法的・政策的な観点から
複雑な問題の解決を図り，社会に貢献する

高度に専門化・多様化した現代社会において，複雑に絡み合った問題を解決するためには，社会に対する幅広い関心をベースに自発的かつ意欲的に課題発見に挑むとともに，その解決に必要な知識と能力を身につけることが不可欠です。
「公共法政策コース」，「企業関係法コース」，「総合法学コース」の3つのコースを設け，現実社会のダイナミズムの中で機能する法的な知識や手法の修得を目指します。

経済学類

人々が豊かに幸せに暮らしていくためのあり方を考え，行動する

地域，国家，そして国際社会において複雑化した様々な問題を，①経済理論と経済政策②経営学と情報科学③世界各地の経済社会の比較考察という3つの側面から捉えます。この3つに対応するコースを設け，学生は体系的な教育を少人数制で受けられます。実践的な調査研究能力，政策評価や政策立案に関する知識，情報処理能力が身につくよう，きめ細やかな指導を行い，専門知識を備えた優れた人材を養成します。

学校教育学類

専門的な知識，技能，教える能力を養いながら，子どもたちの内面に寄り添い，
生きる希望と勇気を与える教師の育成を目指す

小学校，中学校，特別支援学校などの教師を組織的，計画的に養成するとともに，学校現場で生じている様々な課題に的確に対応できる能力を身につけます。
子どもたちに学ぶことの意味と喜びを伝え，豊かな世界観を育てていくためには，専門的な知識や技能とともに，子どもを理解して子どもの成長を支援する能力も不可欠です。このような実践的指導力を持った教師を育成するため，実習的な授業科目や学校現場での教育実習などに重きを置いた教育を行います。

地域創造学類

地域創造学を核とする新しい知的分野の創出のもと，
地域が直面する課題に果敢に挑戦する

地域に暮らす一人ひとりの幸福を探求する最先端の研究領域「地域創造学」の学習と実践を通じて，次代の地域づくりリーダーの養成を目指します。
学類共通科目を履修した後，2年次から各コースで専門テーマを学びます。演習や実習，論文指導のきめ細かな少人数教育を基本に，現場での実習教育を重視しています。

国際学類

国際社会への深い洞察力と豊かなコミュニケーション力で，
グローバル化する社会で活躍できる国際人を目指す

グローバル化が進んだ21世紀に，国際社会および日本への深い洞察力を持ち，異文化との〈しなやかな共生〉を実現できる真の国際人を育成することを目的とし，異文化への関心と探究心，高度なコミュニケーション能力を持ち，将来国際的業務で活躍できる人材を育てます。
日本と国際社会を多面的・総合的に学び，理解を深めるために，「国際社会」「日本・日本語教育」「アジア」「米英」「ヨーロッパ」の5つのコースを設けています。

理工学域

数物科学類

数学，物理学，計算科学の「叡智」を駆使して森羅万象の根源的探究に挑み，
科学的な思考力と創造力を養う

自然科学の基礎をなす数学と物理学は，コンピュータの進歩により誕生した計算科学によって新たな時代を迎え，あまりにも複雑で扱えなかった自然現象の解明や理論の検証が可能となりつつあります。数物科学類では，この3つの学問を有機的に総合した教育と研究を行い，これらの学問の発展や次世代への継承に寄与できる人材，また社会の様々な分野において，科学が培った論理的思考力と創造力を生かして活躍する人材を育てます。

物質化学類

原子・分子から生命・地球環境・宇宙まで
―化学の探求を通じて科学的探究心と創造的能力を育む

化学は自然界で起こる様々な現象の原子・分子レベルでの理解から，21世紀に必要となる環境に適合した新しい機能性物質の創製，さらに様々な日常の生活を支える化学製品の開発と製造過程に至るまでの幅広い領域を含んでいます。化学を通じて人類が自然と共生しながら持続的に豊かに生きるための科学・科学技術・文化の発展と充実に貢献することができる人材を養成するとともに，社会の様々な分野でリーダーとして活躍できる人材を育成します。

機械工学類

自然，人間社会との調和を図りながら，モノづくり工学で
人類に貢献するエンジニア，研究者を目指す

高度複雑化する現代産業社会，イノベーション（技術革新）の牽引役としての機械工学の重要性はますます高まっています。エネルギー，環境と経済をともに発展させる持続型社会の構築のため，自然や人間・社会との調和を図りつつ，モノづくり工学の持つ社会的使命と責任を果たす機械技術者・研究者の育成を目指します。

電子情報学類

豊かで快適な未来社会に向けて，最先端のエネルギー，
エレクトロニクス，コンピュータ，バイオ分野に挑む

クリーンでエコなより良い生活環境実現のため必要不可欠となるエネルギー，エレクトロニクス，コンピュータ，ライフサイエンス，この4つの分野は相互に強く関連し，現代社会の中で極めて大きな役割を果たしています。これらの分野を体系的に学ぶことによって，未来志向の想像力を養い，今後の高度情報化社会にグローバルな視点から貢献する技術者，研究者の育成を目指します。

環境デザイン学類

地球環境保全から“まちづくり”まで―
環境と共生する社会基盤づくりのエキスパートを育てる

私たちの暮らしには，安全・安心な生活環境が不可欠です。道路・トンネル・橋・鉄道・港湾などの社会資本・社会基盤，魅力的な都市や街，そして地球環境全体まで，環境デザインの対象は無限です。自然と調和した国土の創造，持続的発展の可能な都市システムや安全・安心な社会基盤の整備のための様々な理論や技術を修得するとともに，人文系の分野にも精通し，まちづくりから地球環境全体までの環境デザインができる人材を育成します。

自然システム学類

生物・人間・物質・地球で形成される自然システムの
探求を通じて，創造性あふれる科学者，技術者を目指す

生物・人間・物質・地球で形成される「自然システム」の中で絶えず影響し合う生命・物質・エネルギーをあらゆるスケールの空間・時間での科学的事象について学びます。基礎科学を重視し，その結果を人々の豊かな生活の実現に応用するための教育を行い，広い視野に立って生物学，物質工学，バイオ工学，環境科学，地球科学の観点から，自然システムを理解する研究者，技術者および教育者の育成を目指します。

医薬保健学域

医学類（6年制）

最先端の知識と技術，そして何よりも人間とのふれあいを通じて，人間性豊かで社会に貢献できる医師・医学者を育てる

医学に対する興味，幅広い教養，豊かな感性と人間性への深い洞察力を持つとともに，コミュニケーション能力を備え，患者中心の全人的医療ができる医師・医学者を育てることを目標としています。
医師・医学者に求められる基本的な医学知識を学びながら，医学研究や診療の現場を積極的に体験し，人間性についての理解と共感を深めていきます。6年間にわたる教育を通じて，よりよい医療，健康，福祉の推進を通じて社会に貢献できる医師・医学者の育成を目指します。

薬学類（6年制）
創薬科学類（4年制）

薬から幅広く医療を見渡し，薬の向こうにあたたかな“命”を感じられる薬剤師・研究者を育成する

「くすり」は病気で苦しむ多くの人々を同時に助けることができます。そのためには，「くすり」と「人」に関する地道な基礎薬学・生命科学研究や発展的な応用研究，より臨床に近い医療薬学研究が必要不可欠です。先端的研究を通じて「くすり」に関わる多様な人材を養成します。
薬剤師養成を主目的とした「薬学類」（6年制）と，薬学に関する研究開発を担う人材養成を主目的とした「創薬科学類」（4年制）を併置しています。入学試験は一括で実施され，3年前期までは共通カリキュラムで基礎薬学を学び，その後自分に合った学類を選ぶ経過選択型の方式をとっています。

保健学類

人間の誕生から死までを科学の目で捉え，自分，家族，友達，患者の健康な生活をサポートする

人間としての尊厳を維持し，健康で幸福な生活の実現に貢献することを目指す学問である保健学の基礎技術・知識を学び究めるとともに，人類の保健・医療・福祉の発展に寄与する「保健学のプロ」（卒業時に国家試験受験資格を取得）を育成します。
保健・医療・福祉の科学的知識と理論，技術の修得を通じて，医療制度の変化，高度先進医療の導入，健康観の変化・社会のニーズ，動向など多くの課題に応えられる高度な専門的人材を育成します。

大学院

教育学研究科

教育実践高度化専攻

本研究科は，これからの時代の日本や世界を見据えた高度な教育力・研究力を持った教員を養成することに特化した，1専攻3コースからなる大学院修士課程です。広く教育科学と専門科学とを総合し，教育の理論的，実践的な研究を究めるとともに，学校現場の教育課題に対応したより高度な実践的指導力・応用力を持った人材を育成します。そのため，複数教員指導体制をとるとともに，附属学校や協力学校での実習や研究を重視しています。また国内外の現職教員の受入も行っています。

人間社会環境研究科

人文学専攻（博士前期課程）

6つの学際総合型プログラムと17の専門深化型プログラムがあり，学生は入学試験の際にこの中から一つを選択して履修します。教員は人間科学，歴史学，言語・文学，文化資源学の4コースにそれぞれ所属し，関連プログラムの教育にあたります。取得できる学位は文学または学術の各修士号です。

法学・政治学専攻（博士前期課程）

基礎法学，公法学・社会法学，民事法学，政治学の4つのプログラムから構成され，学生はそのいずれかを選んで履修します。取得できる学位は基礎法学，公法学・社会法学，民事法学プログラムの修了生は法学，政治学プログラム修了生は政治学で，またいずれのプログラムも学術の各修士号が取得できます。

人間社会環境研究科

経済学専攻（博士前期課程）

経済理論・政策，国際社会・経済，経営情報の3コースがあり，学生はそのいずれかを選択して履修します。いずれのコースを修了しても，経済学または学術の修士号を取得できます。

地域創造学専攻（博士前期課程）

1コースからなり，高度な地域創造力を備えた専門職業人の育成を目指し，課題型インターンシップなどを用意しています。取得できる学位は地域創造学または学術の各修士号です。

国際学専攻（博士前期課程）

国際関係・地域研究と日本語教育・日本文化研究の2コースからなり，前者には授業がすべて英語で行われるInternational Studies Programもあります。両コースとも取得できる学位は国際学または学術の各修士号です。

人間社会環境学専攻（博士後期課程）

人文学，法学・政治学，社会経済学の3コースで構成され，学生はそのいずれかに所属して履修します。取得できる学位は，社会環境学，文学，法学，政治学，経済学，学術のいずれかの博士号です。

文化資源マネージャー養成プログラム（博士課程教育リーディング・プログラム）

人間社会環境研究科に設置された5年一貫の特別プログラムで，人類の有形無形の多彩な文化遺産を未来社会に向けた人類共有の資源ととらえ，その有効な保存・継承・活用策を見いだし管理運営に携われるような専門家である“文化資源マネージャー”の養成を目指します。各学年は4名の日本人学生と，4校のアジア協定校から推薦された4名の留学生からなります。文化資源学研究の基礎となる考古学，美術史，文化人類学などの基礎と方法論を学んだ後，それぞれの課題と研究対象を設定して調査を行い，学位論文の執筆につなげます。

自然科学研究科

数物科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

広い理学研究の中にあって，基礎科学としての特質に重点を置きつつ，総合的な視点から数学・物理学・計算科学の教育研究を行っています。

物質化学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

自然界のさまざまな現象を物質の変化という観点からとらえ，自然と調和した豊かな社会を実現するために，化学が関係する広範な分野において，自ら課題を見出し，先導的研究を実施できる高度な人材（研究者・技術者）の育成を行っています。

機械科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

自然と人間との調和を考慮した機械科学について，実践的でかつ幅広い教育研究（自然との適合，効率的な資源やエネルギーの利用，快適で安全，秩序ある社会の発展に貢献する教育研究）を行っています。

電子情報科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

高速・大容量かつ快適な高度情報ネットワーク社会の実現に向けて，革新的な技術開発を行っています。電気工学，電子工学，通信工学，情報工学の分野について国際水準の教育を系統的に行うとともに，これらの分野を連携強化した新しい技術を創成します。

自然科学研究科

環境デザイン学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

自然と調和した社会・環境基盤の創造を志向し，持続可能かつ安全で快適な国土づくり・都市づくりの要となる社会基盤を構築する責務を担うため，調査・研究，計画，設計・施工・維持管理，さらには廃棄物の処理・再生・更新・廃棄に渡る環境デザインの幅広い局面において必要とされる，高い専門性と学際性を備えた技術・工学について，教育研究を行っています。

自然システム学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

自然システム学専攻は，生物学，バイオ工学，化学工学および地球環境学が融合してできた，まさに理工の融合領域に挑戦する新たな専攻です。専攻の教育を通じて，自然科学の分野で，グローバル感覚，創造力，倫理観の高い研究者・技術者・教育者を育成しています。

医薬保健学総合研究科

医科学専攻（修士課程）

生命科学，基礎医学および臨床医学を体系的・集中的に学ぶとともに，指導教員の研究指導のもとで医学に関連する実験科学を学びます。医学分野での研究者並びに医療・産業分野の専門的な職業人として活躍しうる医学的資質を身に付けた人材を養成することを目的とし，医学科以外の文系・理系を問わない多様な学問的背景を持つ方を受け入れています。

脳医科学専攻・がん医科学専攻・循環医科学専攻・環境医科学専攻（博士課程）

医学博士課程は，脳，がん，循環器疾患，環境医学を中心とした研究分野において教育研究の拠点となり，世界をリードする研究者および高度専門職業人を養成することにより，国民と国際社会の要請に応えることを理念としています。それぞれ，脳医科学専攻，がん医科学専攻，循環器学専攻，環境医学専攻に分かれ，先端的な研究・教育および診療を通じ生命医科学の各分野において高い識見と世界的な広い視野を持つ人材を養成することを目的としています。さらに，平成24年4月に，大学院医学系研究科が，薬学系専攻を包含した「大学院医薬保健学総合研究科」に改組されたことで，また，医学・薬学および保健学の学際領域を超えた協力体制が構築されました。これにより，教育資源の共有と人的資源の交流，学問的実績と有形無形の知的資源を基にした，基礎研究，臨床研究および学際研究の推進が図られています。

創薬科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

博士前期課程では，創薬科学分野の基礎から応用に関する幅広い知識と研究能力を兼ね備えた人材の養成を目的としています。特に，医薬品をはじめとする種々の生理活性物質を化学的，物理学的又は生物学的側面からとらえた教育・基礎研究を通して，創薬を含む生命科学全般に貢献できる優れた人材を育成します。
博士後期課程では，薬学を中核に据えた学問分野（薬学・医学・保健学関連）に関する最先端の知識や技能と高い研究能力の醸成を目的とします。創薬科学における先進的且つ発展的な教育・研究を通して，豊かな創造力，高い見識，卓越した研究企画能力，強いリーダーシップ，さらに国際的競争力を備えた，自立した真の研究者を養成します。

薬学専攻（博士課程）

薬学を中核に据えた医療系学問分野における最先端の知識，医療人としての実践的な研究能力，および高い倫理観の醸成を目的とします。薬学・医学・保健学という三つの医療系学問分野が横断的に連携した本研究科に特有の学際的環境の中で，基礎薬学から医療薬学にわたる幅広い分野での教育を通して，高い専門性を有する薬学教育・薬学研究のリーダー，自然科学の素養と学術的に優れた研究能力を兼ね備えた医療人を養成します。

医薬保健学総合研究科

保健学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

看護科学，医療科学，リハビリテーション科学の基盤的研究を究めるとともに，保健学の総合的研究および学際的研究を推進し，21世紀の保健学を先導する知の創成と新しい学問領域の形成を行います。
保健・医療・福祉の高度専門化の社会的ニーズに対応するため，博士前期課程では，豊かで幅広い学識と高度な問題解決型思考能力を有する指導的高度専門職業人を，また，博士後期課程では，高度な研究能力を持つ国際的研究者・教育者を育成し，保健学の発展と人類の健康と福祉の向上に寄与します。

寄附講座

- 臨床研究開発補完代替医療学講座
- 地域呼吸器症候学講座
- 先進画像医学研究教育講座
- 先進的地域医療研究講座
- 脂質研究講座
- 先進運動器医療創成講座
- 幹細胞代謝学講座
- 環境健康科学講座

法務研究科

法務専攻

2004年に設立された法曹養成のための専門職大学院です。標準コース（修業年限3年）と短縮コース（同2年）があります。
種々の法的紛争を適切かつ迅速に解決でき，紛争予防のための調整能力も備えた法律家を養成します。少人数教育と反復的学習によって法律の基本を学んだ後，弁護士のもとで実務を体験させ，その経験を生かす循環型学習を実施し，知識だけでなく社会や個人に対する深い洞察力を養います。修了者には法務博士（専門職）の学位が授与され，司法試験の受験資格が与えられます。司法試験合格者の多くは，北陸三県を中心に弁護士として活躍しています。

大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科

小児発達学専攻（金沢校）

子どものこころに携わるさまざまな専門職の人たちを連携・統合できる高度な指導者と医学医療，心理学，教育学の基盤に立って，子どものこころと脳発達とその障害に関わる研究者の養成を目指す博士後期課程3年のみの大学院です。金沢校では，子どものこころの背後にある社会認識問題の本質を探るため，分子生物学，脳画像，社会心理学を融合した教育研究を実施します。

別科

養護教諭特別別科

実践的な演習で養護教諭を養成

文部科学大臣より指定された養護教諭の養成機関です。看護師免許取得または取得見込の者を対象とし，取得した看護師の免許科目を基盤に，養護教諭1種免許状取得を目指す1年制の課程です。免許取得に必要な科目「養護に関する科目」では，模擬保健室を活用した教育現場に直結させた実践的な演習を，「教職に関する科目」では，教育の本質に関する講義とともに，附属学校等での養護実習を重視しています。附属学校，協力校における健康診断演習，保健室ボランティア活動などの実践を充実させ，学内の専任教員と学外の養護教育に携わる専門家により養護教諭を育成しています。

研究域附属研究センター

〈人間社会研究域〉

地域政策研究センター

地域の発展・再生のための政策研究を推進する

現代のグローバル経済の下，地域の経済社会が困難に直面している諸課題に対し，地方自治体や企業，地域の諸団体，大学内外の諸機関と連携しながら，人文・社会科学の専門性を活かして解決策を提示するとともに，地域再生の道筋に向けた政策科学を確立するために，各種研究プログラムや共同研究体制を組織しています。人口の減少・過疎化によって生活条件が困難に陥っている地域における社会システムの再構築や，地域資源を活かした新たな事業創出のマネジメントを研究しています。

国際文化資源学研究センター

世界各地の「文化資源」を保護・活用

経済開発やグローバリゼーションの進展で世界各地において有形・無形の文化遺産が，消滅の危機に瀕しています。この文化遺産を，新たな価値を創造するための「文化資源」ととらえなおし，総合的・多角的な研究と，保護・活用法の開発を行っています。形態文化資源，伝承文化資源，文化資源情報の3部門があり，それぞれ，有形文化資源に関する調査・研究，無形文化資源に関する調査・研究，文化資源情報の収集・社会還元を使命としています。研究のフィールドは，イタリア，ヨルダン，グアテマラ，インドなど多岐にわたり，海外の研究機関と共同で事業を行う国際共同研究プロジェクトも積極的に展開しています。

〈理工研究域〉

バイオAFM先端研究センター

革新的AFM技術で新しいバイオ研究を開拓・推進

革新的な原子間力顕微鏡（AFM）技術の開発とその技術による新しい生命科学の開拓を推進するために設立された本センターは，高速AFM研究開発，超解像液中AFM研究開発，イメージング研究，分子・細胞研究の4部門から構成される世界トップの研究拠点です。これまでに開発した高速AFMはタンパク質分子や細胞で起こる動的な生命現象を高解像で直接可視化することを初めて可能にしました。その結果，他の手法では困難な重要な発見が次々と生まれています。また，液中周波数変調AFMは分子の超解像イメージングや水和層の3次元検出にも成功しています。本センターの目標に向け，物理，工学，生物系の研究者が連携し，また，国内外の外部機関と協力し研究を推進しています。

サステナブルエネルギー研究センター

持続可能エネルギーに関わる研究開発を推進する

有機薄膜太陽電池，自然エネルギー活用，炭素循環技術，エネルギー・環境材料，バイオマス利用の5部門から構成されています。安全で，持続可能なエネルギー生産技術による循環型社会を構築するための拠点として，国・地域を問わずどこにでも存在する風力や太陽光などの再生可能エネルギー，北陸の豊かな自然が生み出すバイオマスなどの廃棄エネルギーをもとに，地域で独自に生産しその地域で消費する，いわゆる“地産地消型”のエネルギーの効率的変換・創成・再資源化などの研究を推進しています。

〈医薬保健研究域〉

健康増進科学センター

「肌の健康に関する研究」を中心的研究課題として，先端的研究を行う

疾病の予防を超えた健康を増進する新しい学問を確立し，国民の健康寿命の延伸に寄与することを目的に，2009年度に設置され，2013年度に「肌の健康に関する研究」を中心的課題として先端的研究を行うアドバンストスキンケア学部門とそれまでの地域連携活動を継承する社会連携部門に改組しました。アドバストスキンケア学部門では，日常生活で行う整容目的のスキンケアを科学の対象ととらえ，皮膚の健康度の低下のメカニズム解明，非侵襲的モニタリング法をもとに多様な原因で起こる皮膚脆弱を有する対象者の皮膚の損傷予防・治癒・苦痛緩和・well-being向上を目指したスキンケア技術の開発と臨床応用を目指します。

脳・肝インターフェースメディシン研究センター

脳と肝臓に重点を置き，22世紀に向けた医療開拓への基盤作りを目指す

人類は栄養不良や感染症などの課題を次々に克服してきましたが，21世紀は過栄養や高齢化に伴う疾病の制御が課題となっています。本センターの目的は，分野を超えた学際的な視点から病因・病態を解明し，22世紀に向けた医療開拓への基盤作りをすることにあります。成人期・老年期疾患の制御という医学課題を解決するため，人体の高次機能を司る脳と，栄養代謝など代謝の中心臓器である肝臓に重点をおき，それぞれ優れた独立研究を行うだけでなく，臓器間の密接な関係についても研究しています。

研究域附属研究センター

革新予防医科学教育研究センター

健康・医療・環境に関する地球規模の課題解決を担う

健康・医療・環境に関する地球規模の課題を解決に導く人材の育成・輩出を担う革新予防医科学共同大学院（仮称）の2016年度設置に向け，本学における必要な教育研究活動等を行うことを目的とし，2013年7月1日に設置されました。センターには，共同大学院の設置に向けた活動を円滑に推進するため，共同教育課程実施準備室，教育プログラム開発部門，共同研究推進部門および国際連携推進部門の4つの室・部門を置いています。

附属施設・学内共同教育研究施設等

グローバル人材育成推進機構（O-GHRD）

本学の教育・研究・国際戦略を踏まえ，グローバルに活躍できる人材を育成するため，全学を挙げた人材育成プログラムの構築を図ることを目的に，学長直轄の教育特区機構としてグローバル人材育成推進機構を設置しました。本機構は，プログラムを策定するための「プログラム検討委員会」，プログラムを具体的に実施するための「特区教育センター」で構成されています。

先端科学・イノベーション推進機構（O-FSI）

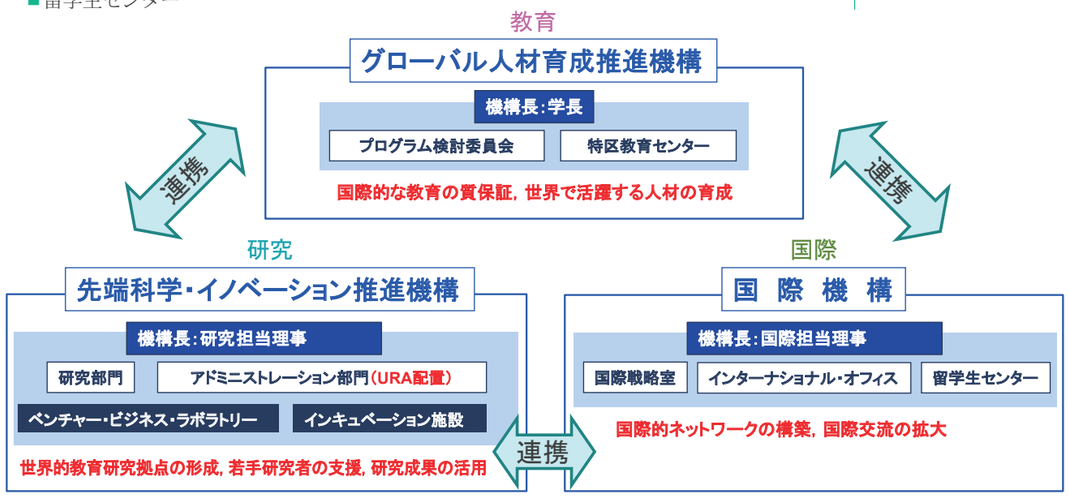
金沢大学の教育研究のさらなる高度化の推進のため，基礎研究から応用研究まで一貫した研究支援と産学官連携による研究成果の社会還元の促進を目的としています。重点研究プログラムを含む研究部門と，研究支援を担当するアドミニストレーション部門で構成されています。

- ■インキュベーション施設
- ■ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

国際機構

国際化に関する事業を統括し，本学の国際化を推進することを目的としています。国際化の戦略，基本方針および目標計画等の原案の策定や基盤整備などを行う「国際戦略室」，外国人留学生の渡日支援や学生の海外派遣支援などを行う「インターナショナル・オフィス」，外国人留学生への日本語・日本文化教育や海外留学を希望する学生への指導助言，留学生教育の調査研究などを行う「留学生センター」で構成されています。

- ■国際化戦略室
- ■インターナショナル・オフィス
- ■留学生センター



がん進展制御研究所

がんに関わる研究所としては文部科学省唯一の機関として，1967年に臨床研究部門を含む8研究部門制で設立されました。その後，部門増設等を経て1997年に3大部門制に拡大改組するとともに，新規抗がん治療法の開発を目指す“分子標的薬剤開発センター”を設置しました。この間，本研究所では，がん転移に関わるタンパク質分解酵素MT1-MMPの発見をはじめ，がんの病態成立に密接に関与しているケモカインやアポトーシスの機能解明を始めとした基礎研究に大きな成果をあげてきました。

2006年には，抗がん剤・放射線治療への抵抗性の克服を目指す「がん幹細胞研究センター」と，先進的ながんの診断・治療法の開発を目指す「分子標的がん医療研究開発センター」の設置などの改組を行ない，白血病幹細胞の維持に関わる重要な分子機序を明らかにしました。さらに2010年には，がんの悪性化にともなう転移・再発，および薬剤耐性機構の研究を進めるために，「がん幹細胞研究プログラム」「がん微小環境研究プログラム」「がん分子標的探索プログラム」「がん分子標的医療開発プログラム」の4プログラム制へと改組して現在に至っております。現在は，がん幹細胞制御機構，肺がんの薬剤耐性獲得機構，慢性炎症による発がん機構などの研究を通して，がんの転移や再発の本態解明と，革新的分子医薬の開発を目指した研究を推進しています。

附属病院

江戸時代の加賀藩種痘所開設（1862年）から始まり，今日では北陸全体の“医療の要”として常に最先端の医療を実践しています。各臓器別・疾患別に32科の専門診療科，ベッド数838床を備えた地域の中核的医療機関であり，特定機能病院にも指定されています。2007年には都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受け，地域医療機関と協力してより良いがん医療を提供しています。2013年には石川県と連携し，TV会議システムやトレーニングシミュレーターを備えた「金大病院CPDセンター」を設置しました。同センターは県内における医療人の育成，専門職能力開発，生涯学習の充実および医療レベルの向上を目的としており，医療関係者同士の知的交流の場となることが期待されています。また，中部先端医療開発円環コンソーシアムや北陸臨床研究推進機構にも参加し，医療技術や医療機器の開発を目指しています。

「最高の医療を提供するとともに，人間性豊かな優れた医療人の育成に努める」を基本理念とし，患者さんが満足できる医療の提供，将来を担う医師，看護師およびコメディカルの育成を目指します。

附属図書館

中央図書館，自然科学系図書館，医学図書館から構成され，合わせて年間約75万人の入館者と，13万6千冊の館外貸出があります。蔵書数は186万冊にのぼり，本学の前身校から引き継いだ歴史的資料や，仏教関係の暁烏文庫などの貴重な書籍・資料もそろっています。学生の学習ニーズに合わせ，館内にはラーニングコモンズやリラックスゾーンを設置，知の交流ができる空間になっています。また，国内外の図書館と協力して図書館ネットワークを形成し，来館の利用者（北陸3県在住者）に館内資料の直接貸出を行うほか，公共図書館を窓口とした貸出の申込を受け付けるなど，社会人や地域の方にも積極的に学習の機会を提供しています。

中央図書館

- 中央図書館
- 自然科学系図書館
- 医学図書館

資料館

資料館展示室（中央図書館内）

1989年に，本学に関係する文書・資料を収集・整理・保存し，閲覧・公開等の利用に供することを目的に設立されました。文化史・自然史・科学技術史にわたる「学術標本」および「大学史料」を収集しています。年1回の特別展のほか，新歓展・企画展などを開催しています。

共通教育機構

共通教育機構では，3学域すべての新入生に対して「全学共通科目」を開講し，導入教育を行うとともに情報処理の基礎の修得を図っています。さらに広い視野や現代的問題意識等を養成する「総合科目・テーマ別科目」，それぞれの学問体系の基本を学ぶ「一般科目」（理系学生向けの「基礎科目」を含む），言語についての能力を養う「言語科目」など多彩な科目群が用意され，学生は所属学類の指示に基づき，これらを履修します。このように共通教育機構では，大学教育の基盤となる知識・技能や教養を身につけた人材の育成を目指しています。また，2011年度から科目を横断的に再編した「共通教育特設プログラム」を実施しています。古典的教養のみならず，「環境・ESD」など現代的教養の涵養を在学期間を通じて行い，学生が自分の立ち位置を見極めるため，共通教育科目を主体的に履修するシステムを構築しようとする試みです。

地域連携推進センター

本学が有する人的・物的資源を活用し，地域社会との連携推進の中核的役割を担うこと，および地域の課題解決に取り組むとともに，基幹的地方総合大学にふさわしいグローバルな視点を持ちつつ，地域再生に積極的に参画することにより，本学における教育研究の活性化にも寄与します。

学際科学実験センター

医学・自然科学系の研究支援・促進を担う4研究分野，5研究施設等から構成され，遺伝子組換え技術や放射性同位元素，遺伝子改変動物などの実験動物および最先端大型分析機器等の使用を伴う教育研究とその安全管理を行うことにより，医薬学，理工学分野の先端的，学際的研究の推進を図ります。

- 実験動物研究施設
- 実験動物研究施設 角間分室
- 遺伝子研究施設
- アイソトープ総合研究施設
- アイソトープ理工系研究施設
- 機器分析研究施設

総合メディア基盤センター

本学の情報ネットワーク拠点として，情報教育部門，学術情報部門，情報基盤部門，業務管理室から構成されます。学内基幹ネットワークの維持管理，マルチメディア教育設備，学術情報データベースなどの提供とパソコン相談カウンター業務を行っています。

外国語教育研究センター

本学の外国語教育の充実と発展に寄与することを目的としています。主として共通教育機構で提供される外国語教育プログラムの企画と運営を担い，また，カリキュラム開発や教材作成，外国語教授法の研究も行っています。さらに，課外で外国語を学ぶ意欲のある学生，特に海外留学を志す学生を支援しています。

附属施設・学内共同教育研究施設等

環日本海域環境研究センター

環日本海域から東アジアにおける自然現象と人間活動により生ずる種々の環境問題の解決を目指し設立，3つの領域で構成されています。日本海域の環境問題に対して，「自然計測領域」では，自然科学的アプローチで取り組み，「地域研究領域」では，人文社会学的アプローチで取り組み，「環境情報領域」では，環境情報の収集・維持を行っています。共同利用施設としては，臨海実験施設，低レベル放射能実験施設，尾小屋地下測定施設，植物園，電磁場制御実験施設を有します。

- 臨海実験施設
- 低レベル放射能実験施設
- 尾小屋地下測定施設
- 植物園
- 電磁場制御実験施設

大学教育開発・支援センター

教育方法，教育システム，評価システムおよび学生支援体制の研究開発を行い，教育の充実・発展を図ることを目的としています。現在では，能動的学習支援および教学IRに基づく教育質保証をその活動の中心とし，金沢大学憲章に謳われている，学生の自学自習，教員の組織的FD活動推進を支援しています。

環境保全センター

本学における環境分野での研究，教育の推進を図るとともに，大学の研究，教育，医療活動等に伴い発生する各種の廃棄物などに含まれる重金属や有機溶媒などの無害化処理に関する技術支援等を行っています。

子どものこころの発達研究センター

子どものこころを診ることのできる専門家の養成に努めるとともに，基礎研究から臨床治療・支援までの幅広い領域を専門とする研究者，臨床家によるメンバーが各自の専門性を活かしながらチーム一丸となって，子どものこころの問題に挑みます。

男女共同参画キャリアデザインラボラトリー

女性研究者のための，研究環境・制度の整備および啓発・広報活動を行っています。女性が積極的に研究を継続し，成果を挙げて実力を発揮できるように，また次世代女性研究者を魅了するために，真の男女共同参画社会の実現を目指します。
さらに，本学において高い効果の得られた取り組みを，北陸地域の女性研究者ネットワーク全体に普及・実施することで，地域で活躍し世界に情報発信できる女性研究者リーダーの育成とともに，北陸地域全体の研究活動活性化に寄与することを目的としています。

保健管理センター

学生および教職員の健康サポートや健康教育を通して，心身の健康を維持するためのサービスを提供しています。看護師が常駐し，簡単な救急措置も可能です。内科の医師による健康相談，ならびにカウンセラーによるカウンセリングも受けることができます。

極低温研究室

極低温研究室では液体ヘリウム，液体窒素を使用する共通実験室を備え，超低温での研究が進められています。また，磁化測定装置や比熱測定装置などが共同利用されています。本施設では，ヘリウム液化機，液体窒素貯槽を備えており，学内の多くの部局に液体ヘリウム，液体窒素を供給するとともに，低温実験に必要な技術的な指導，サービスも行っています。高圧ガス保安法に基づく安全講習も毎年実施しています。

埋蔵文化財調査センター

本大学構内の文化財を保護活用し，出土した資料等を教育および学術研究に資することを目的としています。センターの活動により，角間地区からは平安時代の寺院跡などが，宝町地区からは近世武家屋敷や寺院の遺構や遺物などが見つかっています。

附属施設・学内共同教育研究施設等

技術支援センター

本学における技術教育および研究支援を行うとともに，地域社会に対する技術支援・技術啓発等の社会貢献を行うことを目的として設置されました。本センターは汎用機から最先端のマシニングセンターまで数多くの工作機械を有し，これらを有効利用することで，技術教育分野においては学生工作実習や自主的ものづくり支援，研究支援分野においては実験装置の設計・製作や技術開発相談，社会貢献分野においてはものづくり教室等の活動を行っています。また，2008年にはISO14001の認証を取得し，環境に優しいものづくりに対する取り組みにも力を注いでいます。

その他の施設等

金沢大学学生留学生宿舎「先魁」

学生生活の支援と本学の国際化による外国人留学生の支援・受け入れ体制強化を目的とした「学生・留学生宿舎」です。
日本人学生と外国人留学生が共同生活するシェアハウスタイプの宿舎（8人×13ユニット）となっています。

国際交流会館

外国人留学生と外国人研究者のための宿舎です。
78室の単身用居室と多目的室・ラウンジなどの共有スペースがあります。

金沢大学創立五十周年記念館「角間の里」

金沢大学創立五十周年記念事業の一つとして，2005年に白峰村の民家（山口新十朗家，築300年）を移築しました。自然環境に恵まれた角間キャンパスでの，教育，研究，地域連携などを目的とした行事に使用されています。

金沢大学東京事務所

本学の首都圏における活動拠点として，学生の就職活動の拠点，教職員の活動拠点，各同窓会の連絡拠点や交流の場として利用されています。

辰口共同研修センター

能美市の自然豊かなフィールドにある合宿研修施設です。会議室，宿泊室，体育館などを備え，日帰りの利用も可能です。研究室の発表会や各種サークル活動での利用に加え，地域教育・研究の拠点としても活用されています。

金沢大学サテライト・プラザ

学びと情報の発信拠点として，金沢市西町教育研修会館内に開設。公開講座・ミニ講演などの開催のほか，本学のサテライトキャンパスとして，授業やゼミに広く活用しています。

学友支援室

全学同窓会「金沢大学学友会」を中心に，卒業生と在学生・教職員の相互交流を通じて金沢大学の発展と社会に貢献する全学同窓会ネットワークを構築するため，同窓会・卒業生の情報収集および大学の情報提供を行っています。

金沢大学基金

学生を応援し，教育研究活動を支え，地域貢献活動を支援する基金です。奨学金の充実や学生の修学環境整備をはじめ，海外への学生派遣支援および海外からの留学生受入支援，地域連携を深める活動への支援を行っています。

役職員

平成26年5月1日現在

役員	
学長	山崎 光悦
理事（総括・改革・研究・財務担当）・副学長	向 智里
理事（教育担当）・副学長	柴田 正良
理事（国際・附属病院・同窓会担当）・副学長	山本 博
理事（企画評価・情報・社会貢献担当）・副学長	福森 義宏
理事（総務・人事・施設担当）・副学長	有松 正洋
理事（特命担当）	鈴木 康夫
監事	石原 多賀子
監事	上村 大輔

副学長	
副学長	中村 慎一
副学長	並木 幹夫

顧問	
顧問	中村 信一
顧問	田中 隆治

学長補佐	
学長補佐（大学改革・研究担当）	中西 義信
学長補佐（サイエンス・プロモーション担当）	廣田 英樹
学長補佐（教育改革・共通教育担当）	中島 健二
学長補佐（学生募集・入試担当）	坂本 二郎
学長補佐（国際担当）	大谷 吉生
学長補佐（国際担当）	髙山 知明
学長補佐（企画評価・教員人事改革担当）	岩見 雅史
学長補佐（ハラスメント防止担当）	志村 恵
学長補佐（広報戦略担当）	飯山 宏一
学長補佐（男女共同参画推進担当）	池本 良子

教育研究評議会評議員	
学長	山崎 光悦
理事（教育担当）・副学長	柴田 正良
理事（国際・附属病院・同窓会担当）・副学長	山本 博
理事（企画評価・情報・社会貢献担当）・副学長	福森 義宏
人間社会研究域長	樫見 由美子
理工研究域長	加納 重義
医薬保健研究域長	井関 尚一
人文学類長	岩田 礼
法学類長	石田 道彦
経済学類長	平田 透
学校教育学類長	川幡 佳一
地域創造学類長	山岸 雅子
国際学類長	加藤 和夫
数物科学類長	末松 大二郎
物質化学類長	千木 昌人
機械工学類長	岩田 佳雄
電子情報学類長	飯山 宏一
環境デザイン学類長	髙山 純一
自然システム学類長	神谷 隆宏

教育研究評議会評議員	
医学類長	多久和 陽
薬学類長	松下 良
創薬科学類長	國嶋 崇隆
保健学類長	稲垣 美智子
大学院教育学研究科長	松下 良平
大学院人間社会環境研究科長	鏡味 治也
大学院自然科学研究科長	青木 健一
大学院医薬保健学総合研究科長	金子 周一
大学院法務研究科長	佐藤 美樹
がん進展制御研究所長	大島 正伸
附属病院長	並木 幹夫
附属図書館長	古畑 徹
環日本海域環境研究センター長	早川 和一
大学教育開発・支援センター長	堀井 祐介
共通教育機構長	大竹 茂樹

経営協議会委員	
学長	山崎 光悦
理事（総括・改革・研究・財務担当）・副学長	向 智里
理事（総務・人事・施設担当）・副学長	有松 正洋
理事（特命担当）	鈴木 康夫
人間社会研究域長	樫見 由美子
理工研究域長	加納 重義
医薬保健研究域長	井関 尚一
共通教育機構長	大竹 茂樹
弁護士	飯森 和彦
学校法人立命館名誉顧問	川本 八郎
学校法人大阪医科大学相談役	國澤 隆雄
石川県副知事	中西 吉明
コマツ代表取締役会長	野路 國夫
金沢市副市長	濱田 厚史
科学技術振興機構研究開発戦略センター上席フェロー	林 幸秀
産業技術総合研究所理事	矢部 彰

人間社会学域	
学域長	樫見 由美子
人文学類長	岩田 礼
法学類長	石田 道彦
経済学類長	平田 透
学校教育学類長	川幡 佳一
附属教育実践支援センター長	大村 雅章
附属幼稚園長	山下 浩
附属小学校長	山本 一
附属中学校長	鷲山 靖
附属高等学校長	大谷 実
附属特別支援学校長	綿引 伴子
地域創造学類長	山岸 雅子
国際学類長	加藤 和夫

平成26年5月1日現在

理工学域	
学域長	加納 重義
数物科学類長	末松 大二郎
物質化学類長	千木 昌人
機械工学類長	岩田 佳雄
電子情報学類長	飯山 宏一
環境デザイン学類長	髙山 純一
自然システム学類長	神谷 隆宏

医薬保健学域	
学域長	井関 尚一
医学類長	多久和 陽
薬学類長	松下 良
創薬科学類長	國嶋 崇隆
薬学類・創薬科学類附属薬用植物園長	國嶋 崇隆
保健学類長	稲垣 美智子

人間社会研究域	
研究域長	樫見 由美子
人間科学系長	黒堀 利夫
歴史言語文化学系長	新田 哲夫
法学系長	名古 道功
経済学経営学系長	野村 眞理
学校教育系長	村井 淳志
附属地域政策研究センター長	佐無田 光
附属国際文化資源学研究センター長	藤井 純夫

理工研究域	
研究域長	加納 重義
数物科学系長	末松 大二郎
物質化学系長	千木 昌人
機械工学系長	岩田 佳雄
電子情報学系長	飯山 宏一
環境デザイン学系長	髙山 純一
自然システム学系長	神谷 隆宏
バイオAFM先端研究センター長	安藤 敏夫
サステナブルエネルギー研究センター長	髙橋 光信

医薬保健研究域	
研究域長	井関 尚一
医学系長	金子 周一
薬学系長	國嶋 崇隆
保健学系長	稲垣 美智子
附属健康増進科学センター長	須釜 淳子
附属脳・肝インターフェースメディシン研究センター長	櫻井 武
革新予防医科学教育研究センター長	中村 裕之

大学院	
教育学研究科長	松下 良平
人間社会環境研究科長	鏡味 治也
自然科学研究科長	青木 健一
医薬保健学総合研究科長	金子 周一

大学院	
法務研究科長	佐藤 美樹

がん進展制御研究所	
所長	大島 正伸

附属病院	
病院長	並木 幹夫

附属図書館	
館長	古畑 徹
医学系分館長	尾﨑 紀之

学内共同教育研究施設	
地域連携推進センター長	横山 壽一
学際科学実験センター長	浅野 雅秀
総合メディア基盤センター長	森本 章治
外国語教育研究センター長	澤田 茂保
環日本海域環境研究センター長	早川 和一
大学教育開発・支援センター長	堀井 祐介
環境保全センター長	鈴木 克徳
子どものこころの発達研究センター長	三邉 義雄

保健管理センター	
センター長	山岸 正和

共通教育機構	
機構長	大竹 茂樹

グローバル人材育成推進機構	
機構長	山崎 光悦

先端科学・イノベーション推進機構	
機構長	向 智里

国際機構	
機構長	山本 博

学内共同利用施設	
極低温研究室長	松本 宏一
資料館長	奥野 正幸
埋蔵文化財調査センター長	奥野 正幸
技術支援センター長	細川 晃

男女共同参画キャリアデザインラボラトリー	
ラボラトリー長	池本 良子

事務局	
事務局長	有松 正洋
総務部長	本村 俊孝
財務部長	村野 弘明
施設部長	前田 弘喜
研究推進部長	中島 健次
学生部長	髙平 昌彦
情報部長	濵 富美夫
病院部長	長谷川 篤志
人間社会系事務部長	酒井 博和
理工系事務部長	舘 信一
医薬保健系事務部長	堤口 英隆

職員数

単位：人

平成26年5月1日現在

区分		役員	教育研究職員								事務職員	技術職員	合計
			教授	准教授	講師	助教	助手	計	特任教員	教諭			
役員	男	8											8
	女	1											1
	計	9											9
人間社会研究域	男		115	56	1	2	1	175	1				176
	女		22	24			1	47	3				50
	計		137	80	1	2	2	222	4				226
理工研究域	男		104	80	13	50	3	250	3			28	281
	女		2	3		6		11				2	13
	計		106	83	13	56	3	261	3			30	294
医薬保健研究域	男		71	59	6	62		198	11			13	222
	女		17	11	1	31		60	5			6	71
	計		88	70	7	93		258	16			19	293
大学院医薬保健学総合研究科	男								18				18
	女								1				1
	計								19				19
がん進展制御研究所	男		11	6		14		31	3				34
	女		1			4		5	1				6
	計		12	6		18		36	4				40
附属病院	男		2	8	40	61		111	30			128	269
	女			1		16		17	9			862	888
	計		2	9	40	77		128	39			990	1,157
地域連携推進センター	男		1	1				2	3				5
	女												
	計		1	1				2	3				5
学際科学実験センター	男		2	5		3		10				4	14
	女					1		1				1	2
	計		2	5		4		11				5	16
総合メディア基盤センター	男		3	3		2		8	1				9
	女								1				1
	計		3	3		2		8	2				10
外国語教育研究センター	男		3	6	1			10					10
	女		5	4				9					9
	計		8	10	1			19					19
環日本海域環境研究センター	男		5	7		3		15	1			2	18
	女			1		1		2					2
	計		5	8		4		17	1			2	20
大学教育開発・支援センター	男		3	2				5	3				8
	女								1				1
	計		3	2				5	4				9
環境保全センター	男		1	1		1		3					3
	女			1				1					1
	計		1	2		1		4					4
子どものこころの発達研究センター	男								7				7
	女								1				1
	計								8				8
保健管理センター	男		1	2	1	1		5					5
	女			1		1		2				4	6
	計		1	3	1	2		7				4	11
先端科学・イノベーション推進機構	男		1	1				2	4				6
	女					1		1	1				2
	計		1	1		1		3	5				8
国際機構	男		3	1				4					4
	女		2	2				4					4
	計		5	3				8					8
男女共同参画キャリアデザインラボラトリー	男												
	女								1				1
	計								1				1
附属学校	男									58			58
	女									51			51
	計									109			109
事務局	男										229	34	263
	女										188	6	194
	計										417	40	457
合計	男	8	326	238	62	199	4	829	85	58	229	209	1,418
	女	1	49	48	1	61	1	160	24	51	188	881	1,305
	計	9	375	286	63	260	5	989	109	109	417	1090	2,723

■職種別年齢構成表

単位：人

平成26年5月1日現在

年度末年齢	役員	教育研究職員								事務職員	技術職員	合計
		教授	准教授	講師	助教	助手	計	特任教員	教諭			
21-30			1		7		8	1	7	69	545	630
31-40		3	79	7	131		220	54	30	127	284	715
41-50		84	140	46	106	2	378	31	42	143	145	739
51-60	1	193	53	10	14	2	272	13	30	67	103	486
61-	8	95	13		2	1	111	10		11	13	153
合計	9	375	286	63	260	5	989	109	109	417	1,090	2,723
平均年齢	63.5	55.3	45.3	46.6	40.3	54.0	47.9	43.6	43.6	41.1	34.2	41.1

収入・支出額

平成25事業年度決算

■貸借対照表

平成26年3月31日
（単位：百万円）

科目	金額
■資産の部	
Ⅰ．固定資産	
1．有形固定資産	122,344
2．無形固定資産	343
3．投資その他の資産	2,027
固定資産合計	124,714
Ⅱ．流動資産	
現金及び預金	10,664
未収入金	5,139
その他の流動資産	2,919
流動資産合計	18,722
資産合計	143,436

科目	金額
■負債の部	
Ⅰ．固定負債	41,698
Ⅱ．流動負債	18,552
負債合計	60,250
■純資産の部	
Ⅰ．資本金	58,646
Ⅱ．資本剰余金	20,669
Ⅲ．利益剰余金	3,871
純資産合計	83,186
負債純資産合計	143,436

■損益計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日
（単位：百万円）

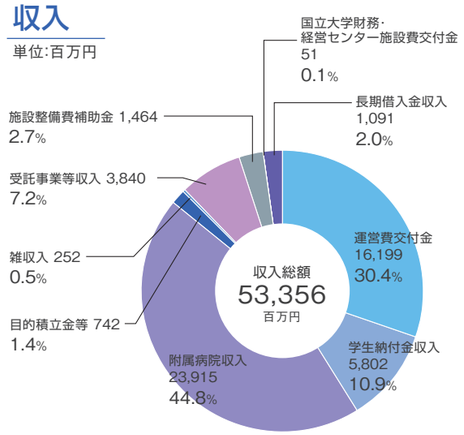
科目	金額
経常費用	50,029
業務費	48,311
一般管理費	1,197
その他費用	521
経常収益	51,460
運営費交付金収益	15,247
学生納付金収益	6,278
附属病院収益	23,719
その他収益	6,216
経常利益	1,431
臨時損失	289
臨時利益	12
当期純利益	1,154
目的積立金取崩額	0
当期総利益	1,154

※百万円未満を四捨五入して記載しているため，合計が一致しない場合があります。
※文部科学大臣の承認を受けるまでは，金額等の変更が生じることがあります。

平成26年度予算

収入

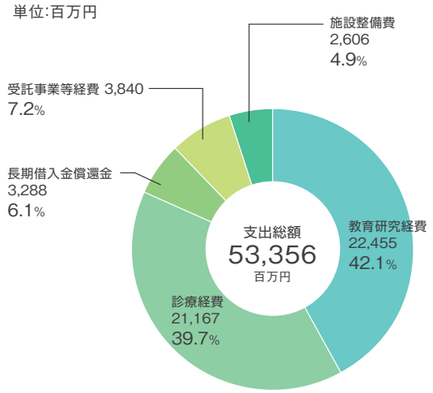
単位：百万円



支出

（平成26年度予算）

単位：百万円



人件費の総額は，23,703 百万円であり，支出総額の 44.4% を占める。

学域・学類・研究科等

学士

学域・学類		コース・専攻
人間社会学域	人文学類	心理学コース
		人間科学コース
		フィールド文化学コース
		歴史文化学コース
		言語文化学コース
	法学類	公共法政策コース
		企業関係法コース
		総合法学コース
	経済学類	経済理論・経済政策コース
		経営・情報コース
		比較社会経済コース
	学校教育学類	教育科学コース
		教科教育学コース
	地域創造学類	福祉マネジメントコース
		環境共生コース
		地域プランニングコース
		健康スポーツコース
	国際学類	国際社会コース
		日本・日本語教育コース
		アジアコース
		米英コース
		ヨーロッパコース
理工学域	数物科学類	数学コース
		物理学コース
		計算科学コース
	物質化学類	化学コース
		応用化学コース
	機械工学類	機械システムコース
		知能機械コース
		人間機械コース
		エネルギー環境コース
	電子情報学類	電気電子コース
		情報システムコース
		生命情報コース
	環境デザイン学類	土木建設コース
		環境・防災コース
		都市デザインコース
	自然システム学類	生物学コース
		バイオ工学コース
		物質循環工学コース
		地球学コース
医薬保健学域	医学類	
	薬学類	
	創薬科学類	
	保健学類	看護学専攻
		放射線技術科学専攻
		検査技術科学専攻
		理学療法学専攻
		作業療法学専攻

大学院

○印は博士講座,◆は協力講座,★は連携講座

研究科・専攻		コース・プログラム等			
教育学研究科（修士課程）	教育実践高度化専攻	教育臨床コース	カリキュラム研究コース	特別支援教育コース	
人間社会環境研究科（博士前期課程）	人文学専攻	人間科学コース	歴史学コース	言語・文学コース	文化資源学コース
	法学・政治学専攻	基礎法学プログラム	公法学・社会法学プログラム	民事法学プログラム	政治学プログラム
	経済学専攻	経済理論・政策コース	国際社会・経済コース	経営情報コース	
	地域創造学専攻	地域創造学コース			
	国際学専攻	国際関係・地域研究コース	日本語教育・日本文化研究コース		
人間社会環境研究科（博士後期課程）	人間社会環境学専攻	○人文学コース	○法学・政治学コース	○社会経済学コース	
自然科学研究科（博士前期課程）	数物科学専攻	数学コース	物理学コース	計算科学コース	
	物質化学専攻	化学コース	応用化学コース		
	機械科学専攻	機能機械コース	環境・人間機械コース		
	電子情報科学専攻				
	環境デザイン学専攻				
	自然システム学専攻	生命システムコース	バイオ工学コース	化学工学コース	地球環境学コース
自然科学研究科（博士後期課程）	数物科学専攻				
	物質化学専攻				
	機械科学専攻				
	電子情報科学専攻				
	環境デザイン学専攻				
	自然システム学専攻				
医薬保健学総合研究科（修士課程）	医科学専攻	医科学			
医薬保健学総合研究科（博士課程）	脳医科学専攻	○脳細胞分子学	○脳情報回路学	○脳病態医学	◆遺伝子改変動物学
	がん医科学専攻	○がん細胞学	○がん制御学	○機能再生学	◆がん分子統御学
	循環医科学専攻	○血管分子科学 ◆血液情報病態学	○血液情報学 ◆医薬情報統御学	○血管病態制御学 ◆医療経営学	○機能分子医薬学
	環境医科学専攻	○感染症制御学	○環境社会医学		
	薬学専攻				
医薬保健学総合研究科（博士前期・後期課程）	創薬科学専攻				
	保健学専攻	○臨床実践看護学 ○理学療法科学	○健康発達看護学 ○作業療法科学	○量子医療技術学	○病態検査学
法務研究科（専門職学位課程）	法務専攻				

学生数

学士

単位：人
平成26年5月1日現在
※は従前の学科を示す。（　）は女子学生数を内数で示す。＊は女子学生の比率を示す。

学域・学部	学類・学科・課程	定員	在籍者数 1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
人間社会学域	人文学類	145	152（93）	157（102）	155（99）	186（129）			650（423）
	法学類	170	176（76）	171（66）	179（56）	207（84）			733（282）
	経済学類	185	186（68）	186（75）	180（67）	229（66）			781（276）
	学校教育学類	100	100（55）	103（53）	108（60）	118（71）			429（239）
	地域創造学類	80	81（38）	84（43）	82（45）	96（54）			343（180）
	国際学類	70	72（56）	72（56）	75（58）	112（81）			331（251）
	計	750	767（386）	773（395）	779（385）	948（485）			3,267（1651）＊50.5%
理工学域	数物科学類	84	88（11）	91（7）	94（9）	110（6）			383（33）
	物質化学類	81	86（22）	84（18）	91（26）	95（18）			356（84）
	機械工学類	140	150（8）	145（11）	160（7）	193（3）			648（29）
	電子情報学類	108	112（6）	118（2）	126（9）	169（6）			525（23）
	環境デザイン学類	74	75（9）	79（13）	89（30）	98（16）			341（68）
	自然システム学類	102	107（30）	107（37）	120（43）	133（42）			467（152）
	計	589	618（86）	624（88）	680（124）	798（91）			2,720（389）＊14.3%
医薬保健学域	医学類	112	112（23）	125（32）	123（26）	116（30）	123（30）	93（25）	692（166）
	薬学類・創薬科学類	75	76（33）	77（32）	76（28）				229（93）
	薬学類	35				36（23）	35（19）	35（20）	106（62）
	創薬科学類	40				50（20）			50（20）
	保健学類	200	202（153）	202（156）	214（154）	218（163）			836（626）
	計	387	390（209）	404（220）	413（208）	420（236）	158（49）	128（45）	1,913（967）＊50.5%
文学部	人間学科※					1（1）			1（1）
	史学科※					1（1）			1（1）
	計					2（2）			2（2）＊100%
教育学部	人間環境課程※					2（0）			2（0）
	スポーツ科学課程※					1（0）			1（0）
	計					3（0）			3（0）＊0.0%
法学部	法政学科※					3（0）			3（0）
	計					3（0）			3（0）＊0.0%
経済学部	経済学科※					6（2）			6（2）
	計					6（2）			6（2）＊33.3%
医学部	医学科※					1（0）	3（1）	5（0）	9（1）
	保健学科※					2（2）			2（2）
	計					3（2）	3（1）	5（0）	11（3）＊27.3%
薬学部	創薬科学科※					1（0）			1（0）
	計					1（0）			1（0）＊0.0%
工学部	土木建設工学科※					2（0）			2（0）
	機能機械工学科※					2（0）			2（0）
	人間・機械工学科※					1（0）			1（0）
	情報システム工学科※					1（0）			1（0）
	計					6（0）			6（0）＊0.0%
合計		1,726	1,775（681）	1,801（703）	1,872（717）	2,190（818）	161（50）	133（45）	7,932（3,014）＊38.0%

大学院　修士課程・博士（前期）課程

単位：人
平成26年5月1日現在
※は従前の専攻を示す。（　）は女子学生数を内数で示す。＊は女子学生の比率を示す。

研究科	専攻名	定員	在籍者数 1年次	2年次	計
教育学研究科	教育実践高度化専攻	35	15（6）	35（21）	50（27）
	計	35	15（6）	35（21）	50（27）＊54.0%
人間社会環境研究科	人文学専攻	23	25（15）	33（23）	58（38）
	法学・政治学専攻	8	7（4）	10（7）	17（11）
	経済学専攻	8	3（1）	7（5）	10（6）
	地域創造学専攻	8	9（6）	12（5）	21（11）
	国際学専攻	8	7（7）	14（9）	21（16）
	人間文化専攻※			5（2）	5（2）
	社会システム専攻※			1（1）	1（1）
	公共経営政策専攻※			6（3）	6（3）
	計	55	51（33）	88（55）	139（88）＊63.3%
自然科学研究科	数物科学専攻	56	52（7）	87（14）	139（21）
	物質化学専攻	57	69（11）	68（11）	137（22）
	機械科学専攻	90	115（3）	122（7）	237（10）
	電子情報科学専攻	67	81（3）	80（0）	161（3）
	環境デザイン学専攻	40	34（7）	40（7）	74（14）
	自然システム学専攻	67	63（20）	74（19）	137（39）
	数物科学専攻※			1（0）	1（0）
	電子情報工学専攻※			2（0）	2（0）
	物質化学専攻※			1（0）	1（0）
	物質工学専攻※			1（0）	1（0）
	計　Total	377	414（51）	476（58）	890（109）＊12.2%
医薬保健学総合研究科	医科学専攻	15	16（4）	14（5）	30（9）
	創薬科学専攻	38	33（13）	38（11）	71（24）
	保健学専攻	70	71（32）	80（39）	151（71）
	計	123	120（49）	132（55）	252（104）＊41.3%
医学系研究科	医科学専攻※			1（0）	1（0）
	創薬科学専攻※			1（0）	1（0）
	保健学専攻※			11（2）	11（2）
	計			13（2）	13（2）＊15.4%
合計		590	600（139）	744（191）	1,344（330）＊24.6%

大学院　博士（後期）課程

研究科	専攻名	定員	在籍者数 1年次	2年次	3年次	4年次	計
人間社会環境研究科	人間社会環境学専攻	12	13（5）	16（11）	57（33）		86（49）
	計	12	13（5）	16（11）	57（33）		86（49）＊57.0%
自然科学研究科	数物科学専攻	15	9（0）				9（0）
	物質化学専攻	14	5（2）				5（2）
	機械科学専攻	25	8（0）				8（0）
	電子情報科学専攻	18	11（3）				11（3）
	環境デザイン学専攻	10	5（0）				5（0）
	自然システム学専攻	21	9（2）				9（2）
	数物科学専攻※			10（1）	26（5）		36（6）
	電子情報科学専攻※			12（3）	16（2）		28（5）
	システム創成科学専攻※			8（1）	21（2）		29（3）
	物質科学専攻※			8（1）	22（5）		30（6）
	環境科学専攻※			13（3）	37（4）		50（7）
	生命科学専攻※			5（2）	28（8）		33（10）
	計	103	47（7）	56（11）	150（26）		253（44）＊17.4%
医薬保健学総合研究科	脳医科学専攻	16	12（4）	11（3）	13（3）		36（10）
	がん医科学専攻	26	33（6）	25（6）	26（7）		84（19）
	循環医科学専攻	20	13（4）	17（4）	11（1）		41（9）
	環境医科学専攻	14	11（2）	9（2）	16（3）		36（7）
	薬学専攻	4	2（1）	5（1）	6（2）		13（4）
	創薬科学専攻	11	10（3）	10（0）	14（2）		34（5）
	保健学専攻	25	26（18）	31（13）	24（7）		81（38）
	計	116	107（38）	108（29）	110（25）		325（92）＊28.3%
医学系研究科	脳医科学専攻※					31（8）	31（8）
	がん医科学専攻※					94（20）	94（20）
	循環医科学専攻※					63（20）	63（20）
	環境医科学専攻※					49（15）	49（15）
	保健学専攻※				73（25）		73（25）
	計				73（25）	237（63）	310（88）＊28.4%
社会環境科学研究科	国際社会環境学専攻※				1（0）		1（0）
	計				1（0）		1（0）＊0.0%
合計		231	167（50）	180（51）	391（109）	237（63）	975（273）＊28.0%

専門職学位課程

研究科	専攻名	定員	在籍者数 1年次	2年次	3年次	計
法務研究科	法務専攻	25	13（4）	20（6）	17（3）	50（13）
	計	25	13（4）	20（6）	17（3）	50（13）＊26.0%

別科

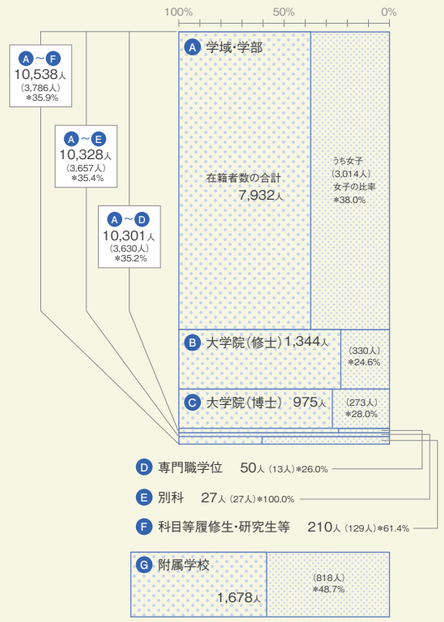
平成26年5月1日現在
（ ）は女子学生数を内数で示す。
＊は女子学生の比率を示す。

別科	入学定員	在籍者数
養護教諭特別別科（1年制）	人 40	人 27（27）
合計	40	27（27）＊100%

科目等履修生・研究生等

区分	在籍者数		
	科目等履修生	研究生等	計
学士	人 36（18）	人 26（21）	人 62（39）
大学院	7（5）	62（25）	69（30）
留学生センター	5（4）	74（56）	79（60）
合計	48（27）	162（102）	210（129）＊61.4%

参考　金沢大学在籍者総数を表すグラフ



附属学校

平成26年5月1日現在
（ ）は女子生徒等数を内数で示す。
＊は女子生徒等の比率を示す。

学校名	学級数	学級数	入学(園)定員	収容定員	在籍者数						
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
幼稚園	満3歳入園児保育	組 5	人 20	人 160	3歳児	4歳児	5歳児	人	人	人	人 119（58）
	満4歳入園児保育		50		人 30（16）	人 48（21）	人 41（21）				
小学校		18 （複式）2	105 40	705 80	105（53）	105（54）	100（51） 12（6）	102（52） 12（6）	111（57）	111（51）	634（318） 24（12）
中学校		12	160	480	159（80）	157（77）	150（74）				466（231）
高等学校		9	120	360	125（56）	125（65）	127（57）				377（178）
特別支援学校	小学部	（複式）3	3	18	3（3）	3（1）	2（1）	3（1）	2（0）	3（0）	16（6）
	中学部	3	6	18	7（3）	5（2）	5（1）				17（6）
	高等部	3	8	24	9（4）	8（2）	8（3）				25（9）
合計		55	512	1,845							1,678（818）＊48.7%

入学志願者及び入学状況（学域）

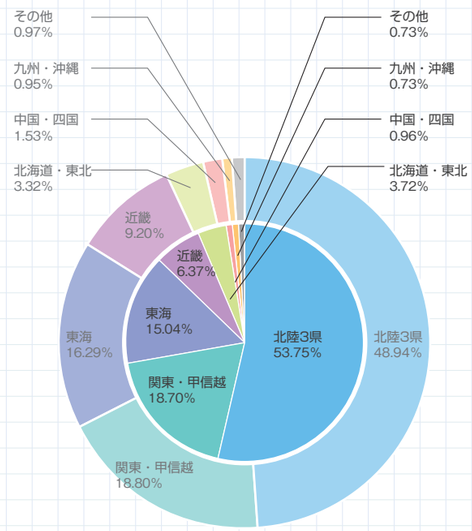
平成26年度

全体	入学者 1,775人	入学志願者 5,358人

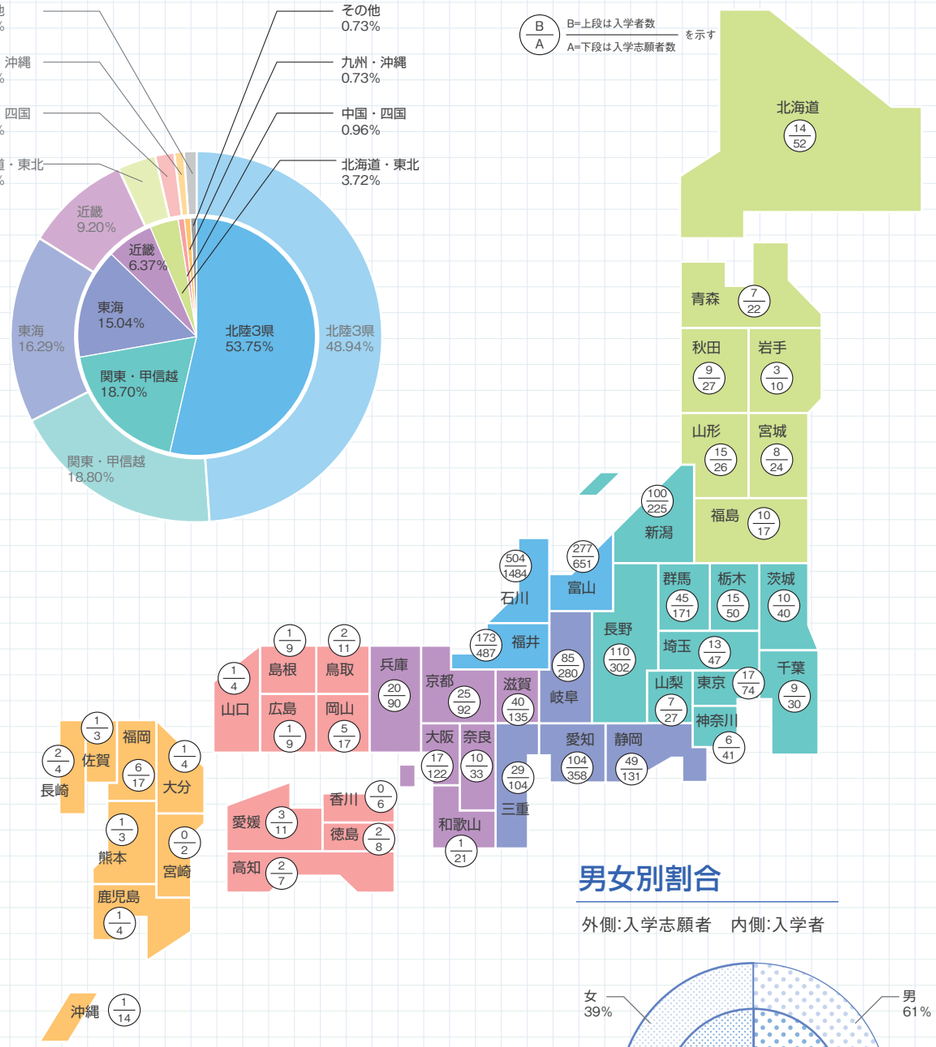
注）都道府県及び出身地とは,出身高等学校等の所在地によるものとする。

出身地別割合

外側:入学志願者　内側:入学者

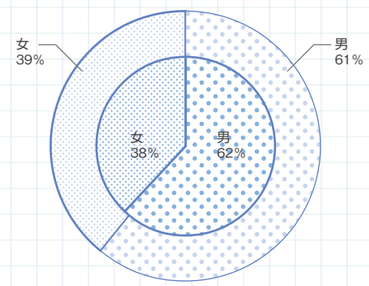


都道府県別数



男女別割合

外側:入学志願者　内側:入学者

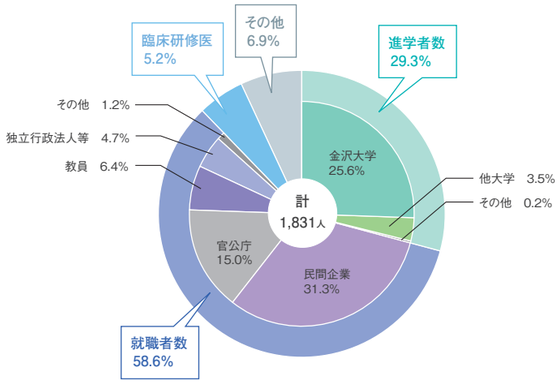


高等学校卒業程度認定試験等合格者	2/14
外国の学校等	10/37
その他（専修学校の高等課程）	1/1

卒業者・修了者数（学位授与数）及び進路状況

単位：人
平成26年5月1日現在

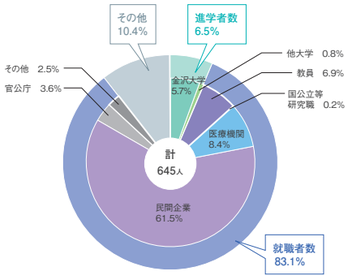
学士（学域・学部）



平成25年度卒業者・修了者の進路別内訳

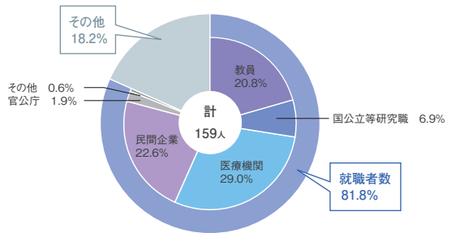
学域・学類／学部		累計（平成25年度を含む）	卒業者数（平成25年度）	進学者数 大学院 金沢大学	進学者数 大学院 他大学	進学者数 その他	進学者数 計	就職者数 民間	就職者数 官公庁	就職者数 教員	就職者数 独立行政法人等	就職者数 その他	就職者数 計	左欄（就職者）の地区別内訳 石川	富山・福井	関東	東海	近畿	その他	計	臨床研修医	その他
人間社会学域	人文学類	418	151	8	10	0	18	64	34	15	8	3	124	43	38	11	18	6	8	124	0	9
	法学類	494	177	5	7	0	12	62	74	0	5	1	142	43	23	29	26	10	11	142	0	23
	経済学類	528	187	1	5	0	6	106	47	1	3	4	161	55	32	23	30	6	15	161	0	20
	学校教育学類	302	99	3	2	0	5	8	5	75	0	0	88	43	26	1	11	2	5	88	0	6
	地域創造学類	220	77	4	2	0	6	34	23	1	2	3	63	24	12	7	4	7	9	63	0	8
	国際学類	199	77	1	3	0	4	53	5	3	2	1	64	21	11	20	1	7	4	64	0	9
理工学域	数物科学類	268	95	52	3	1	56	14	2	16	0	0	32	12	8	5	5	0	2	32	0	7
	物質化学類	271	100	67	5	0	72	16	2	2	0	0	20	5	6	2	4	1	2	20	0	8
	機械工学類	454	161	104	11	0	115	37	2	0	0	0	39	10	8	3	6	6	6	39	0	7
	電子情報学類	351	123	74	6	0	80	34	4	0	0	0	38	12	8	5	7	5	1	38	0	5
	環境デザイン学類	244	85	31	2	0	33	20	31	0	0	0	51	21	14	5	5	3	3	51	0	1
	自然システム学類	309	103	60	6	0	66	22	6	3	0	2	33	11	6	5	3	6	2	33	0	4
医薬保健学域	医学類	95	95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	93	2
	薬学類	36	36	1	0	0	1	22	3	0	10	0	35	7	9	7	4	3	5	35	0	0
	創薬科学類	101	33	31	0	0	31	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1
	保健学類	628	204	24	2	3	29	74	36	0	55	8	173	65	32	19	24	18	15	173	0	2
学部	（文学部）	4,162	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3
	（教育学部）	13,856	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	2
	（法学部）	5,618	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	（経済学部）	5,446	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1
	（理学部）	7,354	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	（医学部（医学科））	5,940	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	（医学部（保健学科））	2,645	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0
	（薬学部）	4,003	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	（工学部）	22,072	6	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	3	0	3
	（法文学部）	8,082																				
計		84,096	1,831	469	64	4	537	573	275	116	86	22	1,072	378	233	145	148	80	88	1,072	96	126

大学院　修士課程・博士（前期）課程



研究科	累計（平成25年度を含む）	修了者数（平成25年度）	進学者数 大学院 金沢大学	進学者数 大学院 他大学	進学者数 その他	進学者数 計	就職者数 教員 大学・短大	就職者数 教員 その他	就職者数 国公立等研究職	就職者数 医療機関 国公立等	就職者数 医療機関 民間	就職者数 民間企業 研究職	就職者数 民間企業 技術職	就職者数 民間企業 事務職等	就職者数 官公庁	就職者数 その他	就職者数 計	その他
教育学研究科	1,176	33	0	0	0	0	4	20	0	0	0	0	2	1	2	0	29	4
人間社会環境研究科	328	75	8	1	0	9	4	4	0	1	0	0	6	14	6	5	40	26
自然科学研究科	7,109	429	21	4	0	25	0	11	0	0	0	22	305	15	12	9	374	30
医薬保健学総合研究科	99	99	7	0	0	7	2	0	1	22	25	15	14	2	2	2	85	7
（医学系研究科）	983	9	1	0	0	1	0	0	0	4	2	0	0	1	1	0	8	0
（文学研究科）	622																	
（法学研究科）	214																	
（経済学研究科）	166																	
（理学研究科）	1,677																	
（薬学研究科）	718																	
（工学研究科）	3,136																	
計	16,228	645	37	5	0	42	10	35	1	27	27	37	327	33	23	16	536	67

大学院　博士（後期）課程



研究科	課程修了者数（博士） 累計	課程修了者数（博士） 平成25年度	論文審査合格者数（博士） 累計	論文審査合格者数（博士） 平成25年度	進学者数 大学院 金沢大学	進学者数 大学院 他大学	進学者数 その他	進学者数 計	就職者数 教員 大学・短大	就職者数 教員 その他	就職者数 国公立等研究職	就職者数 医療機関 国公立等	就職者数 医療機関 民間	就職者数 民間企業 研究職	就職者数 民間企業 技術職	就職者数 民間企業 事務職等	就職者数 官公庁	就職者数 その他	就職者数 計	その他
人間社会環境研究科	34	8	8	0	(0) 0	(1) 0	(0) 0	(1) 0	(1) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(1) 0	(0) 2	(0) 0	(2) 3	(1) 5
自然科学研究科	1,495	77	353	2	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(1) 17	(0) 2	(1) 9	(1) 1	(0) 2	(3) 18	(2) 12	(1) 1	(1) 1	(2) 0	(12) 63	(5) 14
医薬保健学総合研究科			13	10																
医学系研究科	2,407	74	1,674	0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(1) 12	(0) 1	(0) 2	(3) 29	(1) 14	(0) 5	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(5) 64	(0) 10
（社会環境科学研究科）	118		20	0																
計	4,054	159	2,068	12	(0) 0	(1) 0	(0) 0	(1) 0	(3) 30	(0) 3	(1) 11	(4) 30	(1) 16	(3) 23	(2) 12	(2) 1	(1) 3	(2) 1	(19) 130	(6) 29

※（　）は満期退学者数で外数

専門職学位課程

研究科	累計（平成25年度を含む）	修了者数（平成25年度）	進学者数 大学院 金沢大学	進学者数 大学院 他大学	進学者数 その他	進学者数 計	就職者数 教員 大学・短大	就職者数 教員 その他	就職者数 国公立等研究職	就職者数 医療機関 国公立等	就職者数 医療機関 民間	就職者数 民間企業 研究職	就職者数 民間企業 技術職	就職者数 民間企業 事務職等	就職者数 官公庁	就職者数 その他	就職者数 計	その他
法務研究科	208	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14

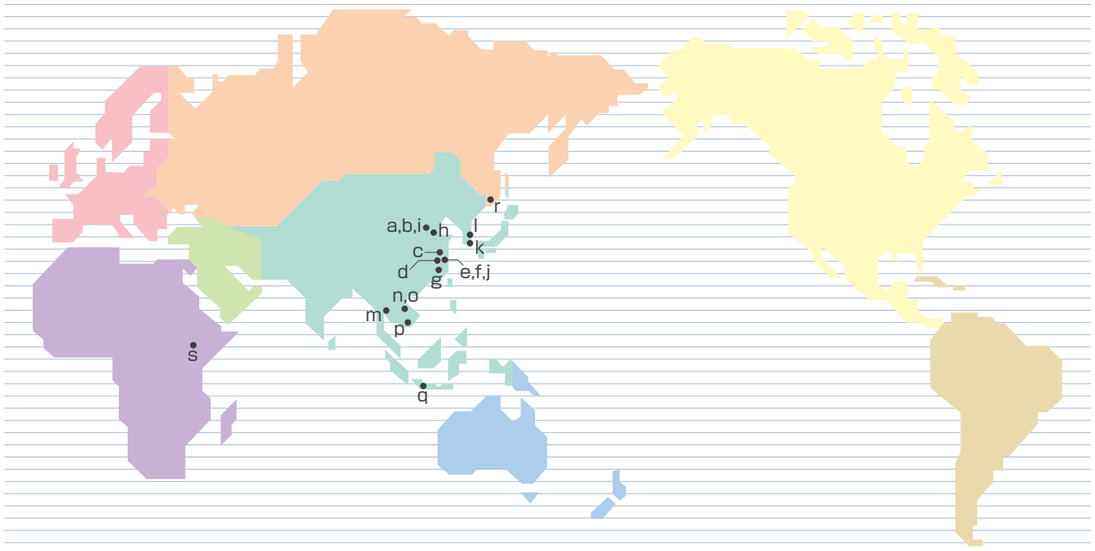
専攻科・別科

別科・専攻科	累計（平成25年度を含む）	修了者数（平成25年度）	進学者数	教員	医療施設職員	福祉施設職員	その他
養護教諭特別別科	1,281	35	0	22	8	0	5
（特殊教育特別専攻）	245						

国際交流

■大学間／部局間国際交流協定 機関分布

	アジア	中東	オセアニア	アフリカ	ヨーロッパ	ロシア及び NIS 諸国	北アメリカ	中南アメリカ	国際機関
大学間国際交流協定 134機関（35か国1地域）	82	4	6	3	21	4	10	3	1
部局間国際交流協定 58機関（19か国1地域）	40	1	2	-	7	4	4	-	-
総計 192機関（40か国1地域）	122	5	8	3	28	8	14	3	1



■海外リエゾンオフィス

平成26年5月1日現在

区分	国・地域名	記号	施設名（都市名）	オフィス設置場所	設置年月
アジア	中国	a	北京事務所（北京）	中国科学院大気物理研究所内	2007.04
		b	北京事務所（北京）	北京大学考古文博学院内	2008.02
		c	南京事務所（南京）	南京大学内	2008.03
		d	蘇州事務所（蘇州）	蘇州大学内	2008.03
		e	上海事務所（上海）	石川県上海事務所内	2008.08
		f	上海事務所（上海）	上海師範大学人文与伝播学院内	2008.01
		g	杭州事務所（杭州）	浙江工業大学内	2009.04
		h	天津事務所（天津）	天津市生物医学研究所内	2009.04
		i	北京事務所（北京）	北京師範大学内	2009.08
		j	上海事務所（上海）	北陸銀行上海駐在員事務所内	2009.09
	韓国	k	釜山事務所（釜山）	釜慶大学海洋共同研究所内	2007.01
		l	大邱事務所（大邱）	慶北大学内	2007.12
	タイ	m	バンコク事務所（バンコク）	モンクット王工科大学内	2010.02
	ベトナム	n	ハノイ事務所（ハノイ）	三谷産業ハノイ支部内	2008.08
		o	ハノイ事務所（ハノイ医薬保健学域連絡事務所）（ハノイ）	ハノイ医科大学内	2010.02
		p	ホーチミン事務所（ホーチミン）	三谷産業ホーチミン支部内	2010.04
	インドネシア	q	バンドン事務所（バンドン）	バンドン工科大学内	2009.04
ロシア及びNIS諸国	ロシア	r	ウラジオストク事務所（ウラジオストク）	ロシア科学アカデミー極東支部太平洋海洋研究所内	2008.11
アフリカ	ケニア	s	ナイロビ事務所（ナイロビ）	ケニア中央医学研究所内	2010.03

■大学間国際交流 協定機関 134機関（35か国1地域）

平成26年5月1日現在

区分	国・地域名	協定機関名（都市名）	締結年月日
国際機関		東・東南アジア地球科学計画調整委員会「CCOP」	2011.03.29
アジア	バングラデシュ	ダッカ大学（ダッカ）	2010.04.19
	カンボジア	アンコール遺跡整備公団（シェムリアプ）	2010.02.09
		カンボジア工科大学（プノンペン）	2010.02.11
		カンボジア国立経営大学（プノンペン）	2014.02.26
	中国	蘇州大学（蘇州）	1997.01.22
		四川大学（成都）	2003.03.05
		ハルビン医科大学（ハルビン）	1999.03.20
		北京師範大学（北京）	1999.09.14
		北京工業大学（北京）	2000.08.11
		大連大学（大連）	2001.03.08
		大連理工大学（大連）	2003.10.21
		南京大学（南京）	2004.03.26
		延辺大学（延吉）	2007.01.31
		華東理工大学（上海）	2008.11.20
		南開大学（天津）	2008.12.23
		浙江工業大学（杭州）	2008.12.24
		北京語言大学（北京）	2009.03.30
		西安電子科技大学（西安）	2009.08.24
		東華大学（上海）	2010.11.01
		中国科学院地理科学・資源研究所（北京）	2011.05.03
		北京大学（北京）	2011.10.19
		上海対外経貿大学（上海）	2011.12.15
	インド	プネー大学（プネー）	1999.09.01
		ティラク・マハラシュトラ大学（プネー）	2013.05.07
	インドネシア	バンドン工科大学（バンドン）	2008.03.03
		インドネシア教育大学（バンドン）	2010.05.24
		スマラン国立大学（スマラン）	2012.09.24
		ブラウィジャヤ大学（マラン）	2012.09.25
		インドネシア大学（デポック）	2012.09.25
		ガジャマダ大学（ジョグジャカルタ）	2012.10.18
		国立マラン大学（マラン）	2013.04.02
	韓国	東亜大学（釜山）	1998.04.16
		釜山大学（釜山）	2000.09.26
		韓国地質資源研究院（大田）	2005.10.17
		釜慶大学（釜山）	2007.01.23
		湖西大学（牙山）	2012.09.25
		漢陽大学（ソウル）	2013.01.07
		全北大学（全州）	2013.06.24
	ラオス	ラオス国立大学（ヴィエンチャン）	2013.12.26
		ラオス保健科学大学（ヴィエンチャン）	2013.12.27
	マレーシア	マラヤ大学（クアラルンプール）	2011.04.29
	モンゴル	モンゴル国立大学（ウランバートル）	2012.10.05
	タイ	チュラロンコン大学（バンコク）	1999.07.16
		モンクット王工科大学 トンブリ（バンコク）	2000.04.21
		チェンマイ大学（チェンマイ）	2008.01.08
		プリンスオブソンクラ大学（ハジャイ）	2011.03.24
		コンケン大学（コンケン）	2011.06.13
		シーナカリンウィロート大学（バンコク）	2011.07.22
		ナレースワン大学（ピサヌローク）	2013.09.26
	ベトナム	ハノイ医科大学（ハノイ）	2009.09.16
		ハノイ工科大学（ハノイ）	2009.09.18
		ハノイ貿易大学（ハノイ）	2009.12.04
		ベトナム国家大学ハノイ校（ハノイ）	2009.12.04
		ベトナム国家大学ハノイ自然科学大学（ハノイ）	2009.12.04
		ベトナム国家大学ハノイ工業技術大学（ハノイ）	2009.12.04
		ハノイ師範大学（ハノイ）	2009.12.04
		ハノイ薬科大学（ハノイ）	2009.12.04
		ハノイ運輸通信大学（ハノイ）	2009.12.04
		ハノイ農業大学（ハノイ）	2009.12.04
		ハノイ大学（ハノイ）	2009.12.04
		ハイフォン医科大学（ハイフォン）	2009.12.04
		ダナン工科大学（ダナン）	2009.12.04
		ノンラム大学（ホーチミン）	2009.12.04
		フエ大学（フエ）	2009.12.04
		カントー大学（カントー）	2009.12.04
		ベトナム国家大学ホーチミン市理科大学（ホーチミン）	2009.12.04

区分	国・地域名	協定機関名（都市名）	締結年月日
アジア	ベトナム	ホーチミン市教育大学（ホーチミン）	2009.12.04
		ホーチミン市薬科大学（ホーチミン）	2009.12.04
		ニャチャン大学（ニャチャン）	2009.12.04
		タイグエン大学（タイグエン）	2009.12.04
		タイグエン医科薬科大学（タイグエン）	2009.12.04
		ベトナム金融アカデミー（ハノイ）	2009.12.04
		ラックホン大学（ビエンホア）	2010.03.31
		ベトナム国家大学ホーチミン市工科大学（ホーチミン）	2010.11.23
		ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学（ホーチミン）	2011.12.05
		ダナン大学（ダナン）	2012.02.27
		ハノイ建設大学（ハノイ）	2012.03.09
		ハノイ国家大学外国語大学（ハノイ）	2014.04.10
	台湾（地域）	国立台湾師範大学（台北）	2000.08.16
		国立台湾大学（台北）	2011.05.10
		輔仁大学（新北）	2012.12.11
		台北医学大学（台北）	2013.12.16
中東	サウジアラビア	イマーム大学（リヤド）	2010.07.08
		キングファイサル大学（ハサー）	2012.05.16
	トルコ	チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学（チャナッカレ）	2013.09.19
	アラブ首長国連邦	シャルジャ大学（シャルジャ）	2012.01.29
オセアニア	オーストラリア	オーストラリア国立大学（キャンベラ）	1998.08.24
		ロイヤル・メルボルン工科大学（メルボルン）	2000.03.16
		グリフィス大学（ブリスベン）	2000.03.20
		シドニー工科大学（シドニー）	2012.08.15
		ニューイングランド大学（アーミデール）	2013.04.02
		マッコーリー大学（ノースライド）	2013.05.27
アフリカ	エジプト	アシュート大学（アシュート）	2000.03.24
	ケニア	ナイロビ大学（ナイロビ）	2011.10.04
		ケニア中央医学研究所（ナイロビ）	2011.10.04
ヨーロッパ	ベルギー	ゲント大学（ゲント）	2009.07.21
	ブルガリア	バルナ医科大学（バルナ）	2010.04.07
	チェコ	カレル大学（プラハ）	1995.09.04
	フィンランド	ユバスキュラ大学（ユバスキュラ）	1998.12.17
		アールト大学（ヘルシンキ）	2000.08.21
	フランス	ロレーヌ大学（ナンシー）	1976.09.21
		オルレアン大学（オルレアン）	2010.07.22
		トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校（トゥールーズ）	2013.09.10
	ドイツ	ジーゲン大学（ジーゲン）	1993.09.14
		レーゲンスブルク大学（レーゲンスブルク）	1999.10.13
	アイルランド	ダブリンシティ大学（ダブリン）	1991.10.14
	イタリア	フィレンツェ大学（フィレンツェ）	2011.02.01
	ポーランド	ルブリン工科大学（ルブリン）	2000.08.17
		ワルシャワ大学（ワルシャワ）	2010.11.22
	スロバキア	スロバキア工科大学（ブラチスラバ）	2000.08.23
	スペイン	バルセロナ自治大学（バルセロナ）	2010.04.14
		サラマンカ大学（サラマンカ）	2013.03.13
		サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学（サンティアゴ・デ・コンポステーラ）	2013.03.15
	イギリス	リバプール・ジョン・モアズ大学（リバプール）	1991.10.04
		シェフィールド大学（シェフィールド）	1991.10.08
		セントラル・ランカシャー大学（プレストン）	2014.04.02
ロシア及びNIS諸国	ロシア	カザン連邦大学（カザン）	1998.09.03
		ロシア科学アカデミー極東支部（ウラジオストク）	2000.11.22
		国立アルタイ大学（バルナウル）	2014.01.10
		極東連邦大学（ウラジオストク）	2014.04.14
北アメリカ	カナダ	ユーコンカレッジ（ホワイトホース）	2013.09.13
		モントリオール大学（モントリオール）	2013.11.29
	アメリカ合衆国	ペンシルバニア大学（ペンシルバニア州フィラデルフィア）	1956.01.20
		ニューヨーク州立大学バッファロー校（ニューヨーク州バッファロー）	1974.06.12
		ウィリアム・アンド・メアリー大学（バージニア州ウィリアムズバーグ）	1991.06.06
		タフツ大学（マサチューセッツ州メドフォード）	1996.12.27
		ニューヨーク州立大学 ニューポルツ校（ニューヨーク州ニューポルツ）	1998.08.05
		ネヴァダ大学リノ校（ネヴァダ州リノ）	2009.11.24
		イリノイカレッジ（イリノイ州ジャクソンビル）	2011.10.14
		ワグナーカレッジ（ニューヨーク州スタテンアイランド）	2014.03.27
中南アメリカ	グアテマラ	文化スポーツ省文化自然遺産副省（グアテマラシティ）	2011.06.27
	ホンジュラス	ホンジュラス国立人類学歴史学研究所（テグシガルパ）	2013.02.08
	メキシコ	モンテレイ工科大学（モンテレイ）	2010.05.03

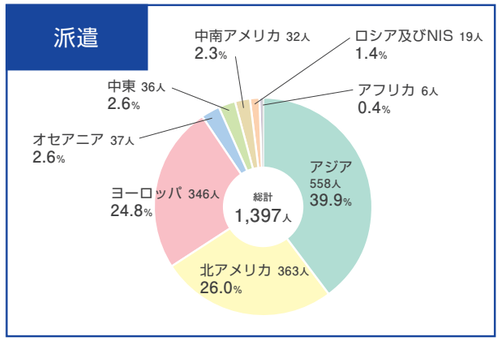
■部局間国際交流 協定機関 58機関（15か国1地域）

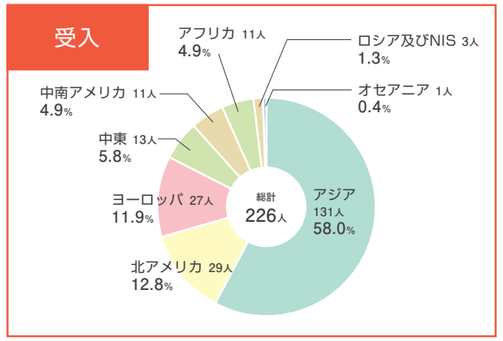
平成26年5月1日現在

区分	国・地域名	本学の協定締結部局	協定機関（都市名）	締結年月日
アジア	中国	経済学部	東北師範大学社会科学部（長春）	1992.06.16
		医学系研究科・医学部	南方医科大学（広州）	2001.05.11
		医学系研究科・医学部	中国医科大学（瀋陽）	2002.05.07
		医薬保健研究域薬学系	河南中医学院（鄭州）	2004.11.15
		環日本海域環境研究センター	中国科学院大気物理研究所大気科学と地球流体力学数値モデリング国家重点研究所（北京）	2007.04.24
		理工学域	浙江大学理学部（杭州）	2009.04.30
		がん進展制御研究所	復旦大学上海がん病院（上海）	2010.07.27
		理工学域	復旦大学社会発展与公共政策学院（上海）	2012.08.06
		人間社会環境研究科	中国人民大学公共管理学院（北京）	2010.09.01
		人間社会環境研究科	浙江大学人文学院（杭州）	2010.10.11
		人間社会学域	雲南民族大学民族文化学院（雲南）	2011.10.31
		理工学域	清華大学環境学院（北京）	2012.02.20
		理工学域	清華大学建築学院（北京）	2012.08.27
		理工学域	上海理工大学機械工程学院（上海）	2012.03.28
		理工学域	山東大学工学部（済南）	2012.03.27
	インドネシア	医薬保健研究域	ハサヌディン大学医学部（マカッサル）	2014.02.12
	韓国	がん進展制御研究所	韓国科学技術研究院遺伝工学研究所（大田）	1993.04.22
		工学部	韓国科学技術院工学部（大田）	2005.03.10
		教育学部	大韓民国体育大学（ソウル）	2005.01.04
		環日本海域環境研究センター	慶熙大学理科学部（ソウル）	2005.12.19
		工学部	檀国大学工学部（ソウル）	2006.11.01
		医学系研究科・医学類	蔚山大学医学部（ソウル）	2008.10.24
		人間社会学域	翰林大学人文学部（春川）	2009.10.28
		人間社会環境研究科	仁荷大学文学部（仁川）	2010.09.30
		がん進展制御研究所	ソウル大学校がん研究所（ソウル）	2013.07.10
	モンゴル	環日本海域環境研究センター	モンゴル科学アカデミー地質鉱物資源研究所（ウランバートル）	2007.03.16
		環日本海域環境研究センター	モンゴル科学アカデミー地理学研究所（ウランバートル）	2012.07.02
		がん進展制御研究所	モンゴル科学アカデミー生物学研究所（ウランバートル）	2007.08.06
	ミャンマー	医薬保健学総合研究科	ヤンゴン第二医科大学（ヤンゴン）	2013.10.23
	フィリピン	理学部	フィリピン大学ディリマン校（ケソン）	1999.05.11
	タイ	工学部	タマサート大学シリントーン国際工学部（パトゥムターニー）	2006.10.24
		理工学域	タイ地方道路局（バンコク）	2010.08.23
	ベトナム	医薬保健研究域医学系	Hospital E 循環器病研究センター（ハノイ）	2011.06.08
		医薬保健研究域	ベトナム海洋医学研究所（ハイフォン）	2012.05.31
		医薬保健研究域	ベトナム社会主義共和国資源環境省 ベトナムで米軍が使用の有毒化学物質による被害克服の国家対策委員会（ハノイ）	2013.03.27
		医薬保健研究域	ハノイ国立小児病院・小児保健研究所（ハノイ）	2013.04.03
	台湾（地域）	法学部	国立政治大学法学院（台北）	2005.03.15
		理工学域	国立政治大学社会科学部（台北）	2012.03.07
		法学類／法学系／人間社会環境研究科	国立成功大学社会科学院法律学系（台南）	2012.07.31
		理工学域	国立台北科技大学工程学院（台北）	2012.10.05
中東	トルコ	医薬保健研究域薬学系	アンカラ大学薬学部（アンカラ）	2010.02.08
オセアニア	オーストラリア	工学部	南オーストラリア大学情報工学・環境工学学群（アデレード）	1999.01.20
	ニュージーランド	医薬保健研究域	オークランド工科大学保健環境科学部（オークランド）	2014.03.17
ヨーロッパ	チェコ	理工学域	プラハ化学工業大学（プラハ）	2003.04.01
	フランス	工学部	サヴォア大学（シャンベリー）	2000.03.14
	ドイツ	工学部	シュトゥットガルト大学（シュトゥットガルト）	2008.03.20
		人間社会学域	デュッセルドルフ大学哲学学部（デュッセルドルフ）	2009.07.30
	オランダ	人間社会学域	ライデン大学人文学部（ライデン）	2013.12.10
	ノルウェー	人間社会学域・国際学類	ノルウェー科学技術大学社会科学テクノロジー管理学部社会学・政治学学科（トロンハイム）	2009.07.28
	イギリス	文学部	オックスフォード大学ベンブロックカレッジ（オックスフォード）	1996.12.01
ロシア及びNIS諸国	ロシア	医学系研究科・医学部	国立クラスノヤルスク医科大学（クラスノヤルスク）	1997.06.18
		理学部	理論実験物理学研究所（モスクワ）	1997.07.01
		理学部	国立イルクーツク大学（イルクーツク）	1998.03.16
		医学系研究科・医学類	国立極東医科大学（ハバロフスク）	2008.06.10
北アメリカ	アメリカ合衆国	教育学部附属小学校	バーウィック学園初等学校（メイン州サウスバーウィック）	1998.05.29
		文学部	プリンストン大学東洋学部（ニュージャージー州プリンストン）	2000.04.28
		医学系研究科・医学部	ハワイ大学ジョンA.バーンズ医学部（ハワイ州ホノルル）	2007.12.03
		医学系研究科・医学部	カリフォルニア大学デービス校医学部（カリフォルニア州デービス）	2007.12.13

■研究者等交流実績／派遣及び受入

単位：人
平成25年度





区分	国・地域名	派遣	受入
アジア	バングラデシュ	0	1
	カンボジア	9	1
	中国	156	25
	インド	8	1
	インドネシア	64	27
	韓国	93	13
	ラオス	18	0
	マレーシア	9	0
	モンゴル	5	1
	ミャンマー	15	7
	フィリピン	32	4
	シンガポール	15	0
	スリランカ	1	1
	タイ	60	21
	ベトナム	39	9
	台湾	34	20
	計	558	131
中東	イラン	0	2
	イラク	0	4
	イスラエル	2	0
	ヨルダン	5	0
	オマーン	6	0
	パレスチナ	0	2
	サウジアラビア	4	4
	トルコ	14	0
	アラブ首長国連邦	5	0
	イエメン	0	1
	計	36	13
オセアニア	オーストラリア	32	1
	ニュージーランド	5	0
	計	37	1
アフリカ	ベナン	1	0
	エジプト	0	2
	ケニア	3	2
	モロッコ	1	7
	ナイジェリア	1	0
	計	6	11
ヨーロッパ	アルバニア	1	0
	オーストリア	26	2

区分	国・地域名	派遣	受入
ヨーロッパ	ベルギー	1	0
	チェコ	8	0
	デンマーク	4	0
	フィンランド	6	1
	フランス	42	5
	ドイツ	61	2
	ギリシャ	7	0
	ハンガリー	3	2
	アイスランド	1	0
	アイルランド	5	0
	イタリア	55	5
	マケドニア	1	0
	オランダ	14	1
	ノルウェー	1	0
	ポーランド	5	1
	ポルトガル	4	1
	ルーマニア	1	0
	スロベニア	2	0
	スペイン	26	5
	スウェーデン	12	0
	スイス	15	0
	イギリス	45	2
	計	346	27
ロシア及びNIS諸国	アルメニア	2	0
	ロシア	16	2
	ウクライナ	1	1
	計	19	3
北アメリカ	カナダ	48	1
	アメリカ合衆国	315	28
	計	363	29
中南アメリカ	ブラジル	17	1
	チリ	1	0
	エルサルバドル	1	2
	グアテマラ	3	4
	ホンジュラス	7	3
	メキシコ	3	1
	計	32	11
	総計	1,397	226

留学実績

■外国人留学生受入状況

単位：人
各年5月1日現在

	H17 2005	H18 2006	H19 2007	H20 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014
学士	80	80	74	64	57	57	60	57	59	55
大学院（修士）	59	56	55	68	91	142	175	160	142	136
大学院（博士）	147	132	130	118	116	126	147	178	172	168
研究生・その他	91	97	93	77	81	166	103	89	124	136
計	377	365	352	327	345	491	485	484	497	495

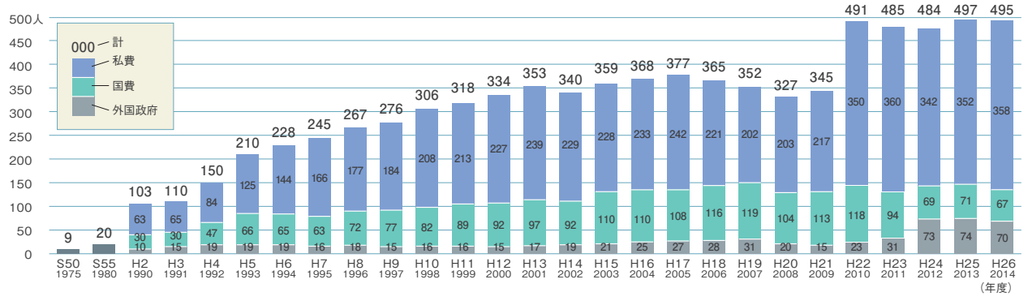
■外国人留学生受入状況

単位：人
平成26年5月1日現在

区分	国・地域名	学域学生	大学院（修士課程）	大学院（博士課程）	研究生・その他	計
アジア	バングラデシュ	0	0	8	0	8
	カンボジア	0	0	0	1	1
	中国	32	79	53	53	217
	インド	0	0	2	0	2
	インドネシア	0	31	48	6	85
	韓国	7	1	3	4	15
	マレーシア	8	1	7	0	16
	モンゴル	1	1	3	0	5
	ミャンマー	0	0	4	2	6
	フィリピン	0	1	1	0	2
	シンガポール	0	0	0	2	2
	スリランカ	0	0	0	1	1
	タイ	4	8	5	5	22
	ベトナム	1	8	17	5	31
	台湾	0	0	3	7	10
中東	イラン	0	1	4	0	5
	トルコ	0	0	1	0	1
オセアニア	オーストラリア	0	1	0	2	3
	フィジー	0	0	1	0	1
	ニュージーランド	0	1	0	0	1
アフリカ	エジプト	0	0	2	1	3
	ケニア	0	0	2	1	3
ヨーロッパ	ベルギー	0	0	0	7	7
	エストニア	0	0	0	1	1
	フィンランド	0	0	0	4	4
	フランス	0	0	0	4	4
	ドイツ	0	0	0	2	2
	アイルランド	0	0	0	1	1
	イタリア	0	0	1	0	1
	リトアニア	1	0	0	0	1
	ポーランド	0	0	0	5	5
	スペイン	0	0	0	2	2
	スウェーデン	1	0	0	0	1
	イギリス	0	0	0	2	2
ロシア及びNIS諸国	ベラルーシ	0	0	1	0	1
	ロシア	0	1	2	3	6
	ウクライナ	0	0	0	1	1
	ウズベキスタン	0	0	0	1	1
北アメリカ	カナダ	0	0	0	4	4
	アメリカ合衆国	0	1	0	7	8
中南アメリカ	アルゼンチン	0	0	0	1	1
	ブラジル	0	1	0	1	2
	合計	55	136	168	136	495

外国人留学生の推移

各年5月1日現在



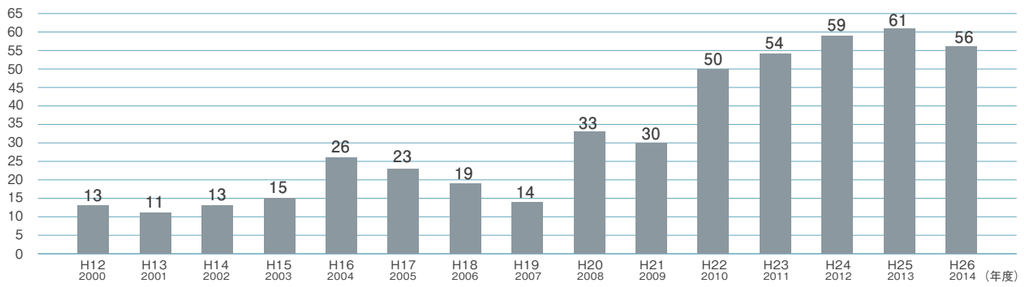
■派遣留学生数内訳

(平成26年度は予定)
サマースクール含む
※印は部局間国際交流協定校

区分	国・地域名	大学名	H17 2005	H18 2006	H19 2007	H20 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014
アジア	バングラデシュ	ダッカ大学										1
	中国	蘇州大学	2			1	2			2		1
		北京師範大学	1	2	2	2	2	2	2	2		
		北京語言大学					1	2	1	2	2	
		大連大学								1		
		大連理工大学										1
		南開大学										1
		南京大学									1	1
		東華大学									2	
	インド	プネー大学						2	2			
		ティラク・マハラシュトラ大学									1	
	インドネシア	スマラン国立大学									1	
	韓国	東亜大学		1			3	3	1	1	1	
		釜慶大学					1	6	6	4	4	
		釜山大学	2	1	3	2	1	1	1	1		
		漢陽大学									2	
		※仁荷大学文学部								2	7	
	マレーシア	マラヤ大学								1	2	2
	タイ	チェンマイ大学								1		
	ベトナム	ハノイ貿易大学									1	
	台湾	国立台湾師範大学	1	1	1	2	1	1	8	2	4	1
		※国立政治大学法学院			1	2	1		2		1	1
		国立台湾大学								2		
中東	アラブ首長国連邦	シャルジャ大学										1
オセアニア	オーストラリア	オーストラリア国立大学	1	1		2		1	1			
		シドニー工科大学								5	2	
ヨーロッパ	ベルギー	ゲント大学						1	1		1	3
	チェコ	カレル大学							2		2	2
	フィンランド	ユバスキュラ大学	1	2		3	2	2	2	1	2	3
		アールト大学	1						1			
	フランス	ロレーヌ大学		2		2	2		2	2	2	2
		オルレアン大学								3	2	2
		トウールーズ大学ジャン・ジョレス校										2
	ドイツ	ジーゲン大学	1				1	1		1		2
		レーゲンスブルク大学	3	2		3	3	4	1	7	4	7
		※デュッセルドルフ大学哲学学部						2		2	1	3
	アイルランド	ダブリンシティ大学			1	2		2	2	1	2	2
	ノルウェー	※ノルウェー科学技術大学社会科学テクノロジー管理学部社会学・政治学学科							1	2	1	2
	ポーランド	ワルシャワ大学										1
	スロバキア	スロバキア工科大学		1								
	スペイン	バルセロナ自治大学						2	2	2	2	
		サラマンカ大学									1	
		サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学									1	
	イギリス	リバプール・ジョン・モアズ大学	3	3	5	5	4	6	6	3		
		シェフィールド大学	2			2	2	2	2	2	2	2
		セントラル・ランカシャー大学										2
ロシア及びNIS諸国	ロシア	カザン連邦大学					1				1	1
北アメリカ	カナダ アメリカ合衆国	モントリオール大学										3
		ウィリアム・アンド・メアリー大学				2		2	1	1		
		タフツ大学	2	3	1	1	1	3	1	2		1
		ニューヨーク州立大学 バッファロー校	1			1		2	2		1	2
		ニューヨーク州立大学 ニューポルツ校	2			1	2	2	2	2	2	2
		ネヴァダ大学リノ校						1	2	1	1	1
		イリノイカレッジ								1		1
中南アメリカ	メキシコ	モンテレイ工科大学									2	
		合計	23	19	14	33	30	50	54	59	61	56

派遣留学生数の推移

各年5月1日現在
サマースクール含む



科研費等

■科研費

平成25年度

研究種目	採択件数	交付金額(千円)
新学術領域研究	28	208,910
基盤研究(S)	2	74,100
基盤研究(A)	11	102,960
基盤研究(B)	101	489,580
基盤研究(C)	333	482,103
挑戦的萌芽研究	87	134,160
若手研究(A)	9	60,970
若手研究(B)	142	219,947
研究活動スタート支援	11	15,600
特別研究員奨励費	27	27,800
合計	751	1,816,130

※特別研究員奨励費は，間接経費が配分されていない。その他の研究種目は，間接経費を含む。
平成25年度における日本学術振興会特別研究員の採用者数は23人（PD:7人，DC2:6人，DC1:9人，RPD:1人）である。また，外国人特別研究員の採用者数は2人である。

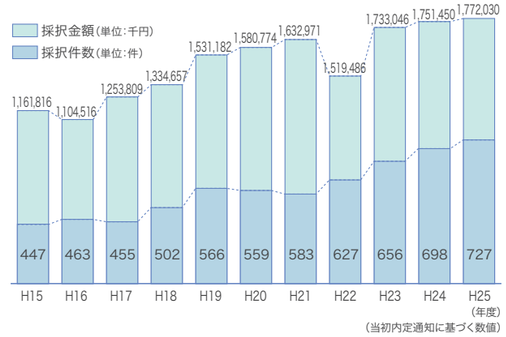
■外部資金受入状況

区分	件数	受入金額(千円)
共同研究	215	281,280
受託研究	184	962,916
寄附金	2,332	1,412,946
合計	2,731	2,657,142

※「受託研究」には，治療薬試験分，病理組織検査等は含まない

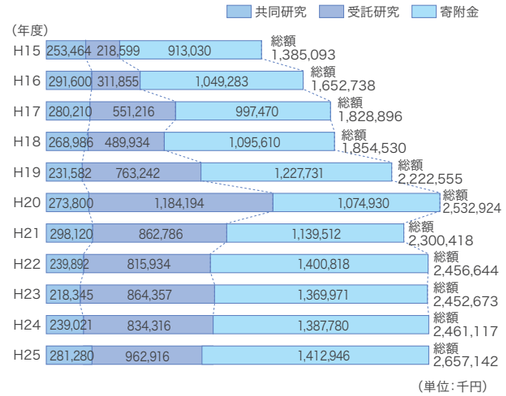
■採択件数・採択金額の推移

平成26年6月20日現在



(当初内定通知に基づく数値)

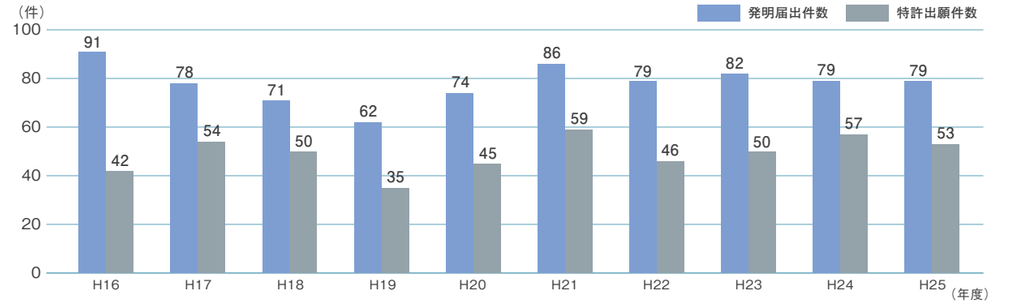
■共同研究費等の推移



(単位:千円)

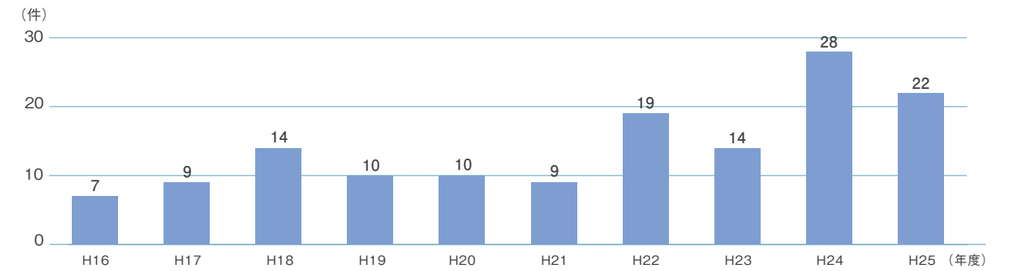
■発明届出・特許出願件数

平成26年3月末日現在



■特許実施許諾契約件数

平成26年3月末日現在



附属図書館

■施設規模・蔵書数

平成26年5月1日現在

名称	建物面積	閲覧席	蔵書数			
			和書	洋書	和洋書 計	雑誌
中央図書館	10,456 ㎡	1,038 席	860,897 冊	326,946 冊	1,187,843 冊	16,741 種
自然科学系図書館	6,513	594	195,586	192,691	388,277	10,510
医学図書館	3,541	401	133,766	154,781	288,547	8,719
合計	20,510	2,033	1,190,249	674,418	1,864,667	35,970

※医学図書館には保健学類図書室を含む

■サービス状況

平成25年度

入館者総数		753,641 人
貸出者数		76,537 人
貸出冊数		136,247 冊
文献複写	学内から受付	1,194 件
	外部から受付	4,923 件
	外部へ依頼	4,020 件
図書館間相互貸借	学内貸借	1,747 件
	貸出	999 件
	借受	1,014 件

■情報検索サービス

平成25年度

電子ジャーナルパッケージ名	タイトル数
Science Direct	2,230
Springer Link	1,683
Wiley Online Library	1,379
メディカルオンライン	967
Cambridge Journals	319
Oxford Journals	255
JSTOR	109
PsycArticles	89
LWW Fixed 50	50
GeoScienceWorld	41
ACS	41
ASCE	34
その他	420
合計	7,617

ネットワーク対応データベース
医学中央雑誌
聞蔵Ⅱテキスト for Libraries
CINAHL
CiNii
Econlit
Evidence Based Medicine Reviews
GeoRef
JCR on Web
MAGAZINE PLUS
MathSciNet
SciFinder
Scopus
TKC ローライブラリー・ロースクール
UpToDate
Web of Science

■学外利用者数

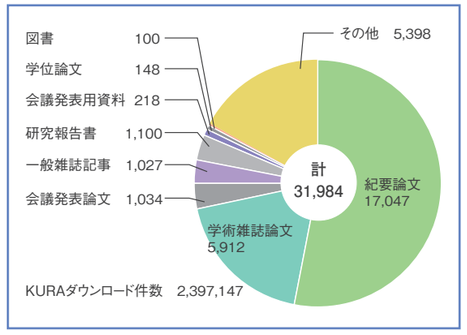
平成25年度

	学生	研究者	その他	合計
中央図書館	407 人	91 人	1,488 人	1,986 人
自然科学系図書館	71	57	558	686
医学図書館	135	23	451	609
合計	613	171	2,497	3,281

※医学図書館には保健学類図書室を含む

■資料種類別 KURA 登録数

平成25年度
単位：件



附属病院

外来診療日数:243日

■病床数

平成26年5月1日現在

診療科等名	合計
消化器内科	50 床
内分泌･代謝内科	20
リウマチ･膠原病内科	15
呼吸器内科	23
循環器内科	40
腎臓内科	15
血液内科	25
神経内科	20
神経科精神科	(神経科) 4
	(精神科) 46
小児科	25
放射線科	2
皮膚科	29
心臓血管外科	24
呼吸器外科	22
胃腸外科	35
肝胆膵･移植外科	35
内分泌･総合外科	9
乳腺科	15
外科診療部門共通病床	13
整形外科	37
脊椎･脊髄外科	20
泌尿器科	34
眼科	43
耳鼻咽喉科･頭頸部外科	35
産科婦人科	33
麻酔科蘇生科	1
脳神経外科	34
歯科口腔外科	10
周産母子センター	11
がん高度先進治療センター	15
NICU	6
GCU	12
MFICU	3
RI病床	6
ICU	22
無菌治療室	4
共通病床	45
合計	838

■患者数

平成25年度

診療科等名	外来		入院	
	患者延数	1日平均患者数	患者延数	1日平均患者数
消化器内科	26,312 人	108.3 人	22,049 人	60.4 人
内分泌･代謝内科	23,440	96.5	6,345	17.4
リウマチ･膠原病内科	13,303	54.7	6,246	17.1
呼吸器内科	14,583	60.0	7,412	20.3
循環器内科	20,830	85.7	14,002	38.4
腎臓内科	11,108	45.7	7,250	19.9
血液内科	10,377	42.7	10,013	27.4
総合診療内科	2,277	9.4	0	0.0
神経内科	8,410	34.6	7,399	20.3
神経科精神科	21,885	90.1	13,949	38.2
小児科	16,066	66.1	12,827	35.1
子どものこころの診療科	3,781	15.6	0	0.0
放射線科	1,171	4.8	14	0.0
放射線治療科	11,932	49.1	9	0.0
皮膚科	25,201	103.7	8,964	24.6
心臓血管外科	5,258	21.6	10,901	29.9
呼吸器外科	3,725	15.3	5,631	15.4
胃腸外科	8,498	35.0	17,880	49.0
肝胆膵･移植外科	4,878	20.1	12,525	34.3
内分泌･総合外科	2,210	9.1	2,535	6.9
乳腺科	9,456	38.9	4,360	11.9
整形外科	18,418	75.8	16,914	46.3
脊椎･脊髄外科	6,014	24.7	5,245	14.4
泌尿器科	20,589	84.7	12,820	35.1
眼科	29,431	121.1	13,282	36.4
耳鼻咽喉科･頭頸部外科	15,451	63.6	11,098	30.4
産科婦人科	15,116	62.2	18,841	51.6
麻酔科蘇生科	6,728	27.7	0	0.0
脳神経外科	6,343	26.1	10,525	28.8
核医学診療科	1,966	8.1	854	2.3
歯科口腔外科	15,058	62.0	2,513	6.9
がん高度先進治療センター	3,527	14.5	5,963	16.3
疾病予防センター	88	0.4	63	0.2
合計	383,430	1,577.9	268,429	735.4

土地・建物及び所在地

キャンパス等名	土地	建物	部局等の名称及び所在地	電話番号
	㎡	㎡		
角間キャンパス	2,008,565	245,910	〒920-1192　金沢市角間町 人間社会学域 人文学類　法学類　経済学類　学校教育学類 学校教育学類附属教育実践支援センター 地域創造学類　国際学類 理工学域 数物科学類　物質化学類　機械工学類 電子情報学類　環境デザイン学類　自然システム学類 医薬保健学域 薬学類　創薬科学類 大学院教育学研究科　薬学類・創薬科学類附属薬用植物園 大学院人間社会環境研究科　大学院自然科学研究科 大学院医薬保健学総合研究科（創薬科学・薬学専攻） 大学院法務研究科（法科大学院） 養護教諭特別別科 がん進展制御研究所　グローバル人材育成推進機構 附属図書館　先端科学・イノベーション推進機構 自然科学系図書館　国際機構 地域連携推進センター　極低温研究室 学際科学実験センター　資料館 アイソトープ理工系研究施設　埋蔵文化財調査センター 学際科学実験センター　技術支援センター 機器分析研究施設　男女共同参画キャリアデザインラボラトリー 総合メディア基盤センター　角間ゲストハウス 外国語教育研究センター　金沢大学創立五十周年記念館 環日本海域環境研究センター　「角間の里」 大学教育開発・支援センター　大学会館 環境保全センター　本部 保健管理センター　国際交流会館 共通教育機構　学生・留学生宿舎	ダイヤルイン化されています。 「番号案内」用の電話番号（主なもの） 人間社会学域,大学院教育学研究科, 大学院人間社会環境研究科, 養護教諭特別別科 076-264-5454,5555 大学院法務研究科 （法科大学院）076-264-5967 理工学域,大学院自然科学研究科 076-234-6821 医薬保健学域薬学類･創薬科学類 076-234-6822 がん進展制御研究所 076-264-6700 共通教育機構 076-264-5753 附属図書館 076-264-5200 地域連携推進センター 076-264-5271 先端科学・イノベーション推進機構 076-264-6111 本部 076-264-5111
宝町・鶴間キャンパス	151,053	186,975	Ⓐ〒920-8640　金沢市宝町13-1 Ⓑ〒920-0942　金沢市小立野5-11-80 Ⓒ〒920-8641　金沢市宝町13-1 医薬保健学域医学類 学際科学実験センター遺伝子研究施設 医学図書館 学際科学実験センター実験動物研究施設 大学院医薬保健学総合研究科（医科学専攻） 学際科学実験センターアイソトープ総合研究施設 子どものこころの発達研究センター　Ⓐ 医薬保健学域保健学類 大学院医薬保健学総合研究科（保健学専攻）　Ⓑ 附属病院　Ⓒ	ダイヤルイン化されています。 「番号案内」用の電話番号（主なもの） 医学類 学際科学実験センター 076-265-2100 子どものこころの発達研究センター 076-234-4213 保健学類 076-265-2500 附属病院 076-265-2000

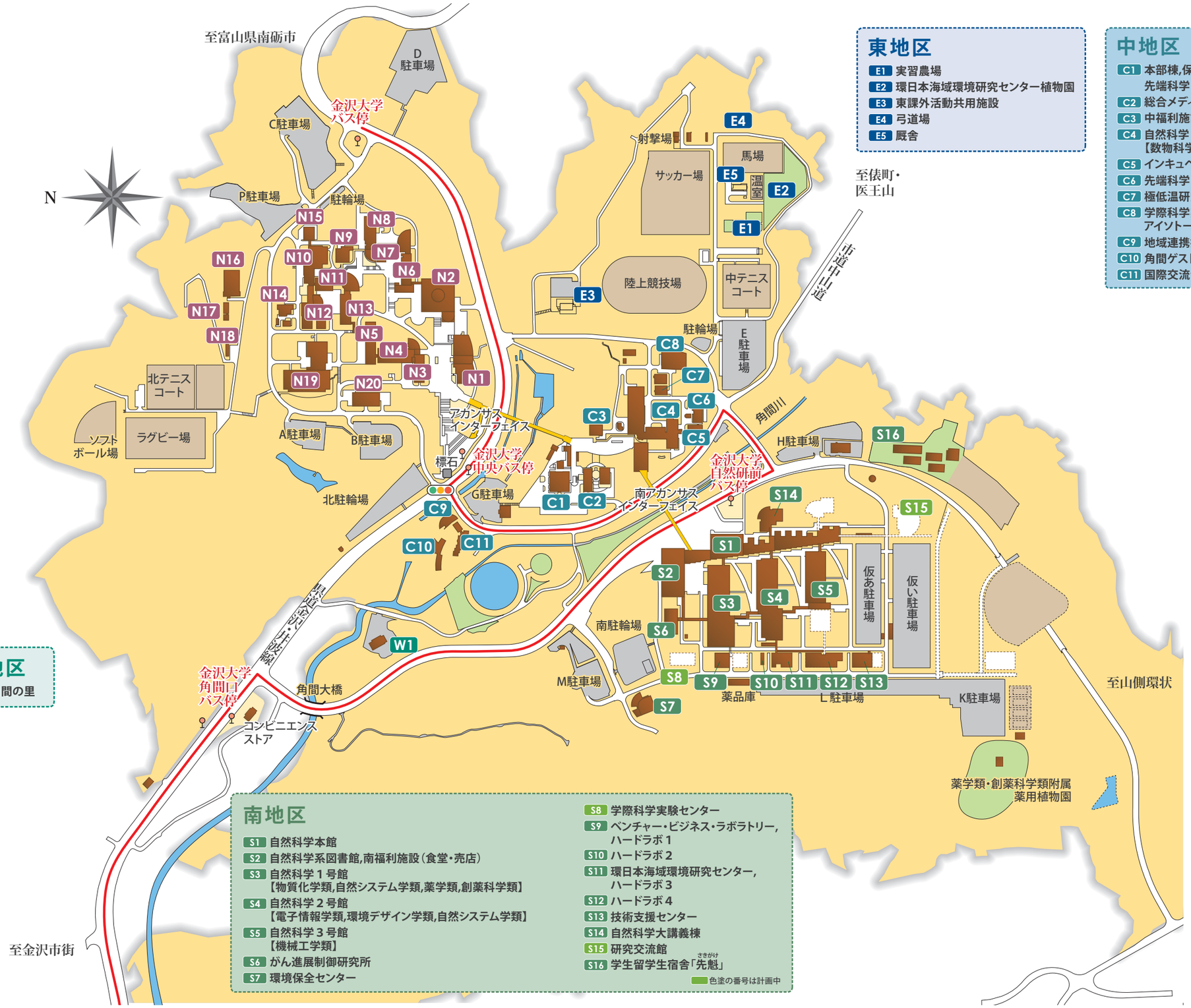
キャンパス等名	土地	建物	部局等の名称及び所在地	電話番号
小立野地区	83,342	36,313	〒920-8667　金沢市小立野2-40-20	
平和町地区	79,876	22,302	〒921-8105　金沢市平和町1-1-15 附属幼稚園　附属小学校 附属中学校　附属高等学校	ダイヤルイン化されています。 「番号案内」用の電話番号（主なもの） 附属学校事務 076-226-2182
東兼六地区	10,517	4,813	〒920-0933　金沢市東兼六町2-10 附属特別支援学校	076-263-5551
辰口地区	262,431	3,089	〒923-1225　能美市松が岡5-163 辰口共同研修センター	0761-51-4000
			〒923-1224　能美市和気町オ24 環日本海域環境研究センター低レベル放射能実験施設	0761-51-4440
小木地区	26,488	1,442	〒927-0553　石川県鳳珠郡能登町小木 環日本海域環境研究センター臨海実験施設	0768-74-1151
潟端地区	1,489	627	〒929-0346　石川県河北郡津幡町潟端り53 潟端短艇庫	076-289-4328
つつじが浜地区	993	439	〒926-0851　七尾市つつじが浜3番77 七尾ヨット艇庫	0767-53-1325
サテライト・プラザ			〒920-0913　金沢市西町3番丁16番地	076-232-5343
学生寮	10,260	5,680	〒921-8036　金沢市弥生1丁目26番5号 北溟寮（男子寮）定員314人	076-241-1941
	3,742	2,840	〒921-8031　金沢市野町5丁目8番10号 泉学寮（男子寮）定員168人	076-244-7112
	4,194	2,678	〒921-8034　金沢市泉野町2丁目13番1号 白梅寮（女子寮）定員140人	076-244-6338
職員宿舎	24,308	22,858		
東京事務所			〒103-0022　東京都中央区日本橋室町3-2-10 室町中央ビル1階	03-5202-4522
合計	2,667,258	535,966		

建物配置図

角間キャンパス

北地区

- N1 大学会館（食堂・売店・郵便局）
- N2 中央図書館・資料館
- N3 総合教育１号館【国際学類,共通教育機構,外国語教育研究センター,大学教育開発・支援センター,留学生センター】
- N4 総合教育講義棟
- N5 総合教育２号館【共通教育機構,人間社会環境研究科】
- N6 人間社会１号館【人文学類,地域創造学類,国際学類,人間社会環境研究科】
- N7 人間社会第１講義棟
- N8 人間社会２号館【法学類,経済学類,人間社会環境研究科】
- N9 北福利施設（食堂）
- N10 人間社会３号館【学校教育学類,地域創造学類,教育学研究科,法務研究科】
- N11 人間社会第２講義棟
- N12 人間社会４号館【学校教育学類,地域創造学類,教育学研究科】
- N13 人間社会５号館【学校教育学類,地域創造学類,教育学研究科】
- N14 工作実習棟
- N15 教育実践支援センター
- N16 プール
- N17 埋蔵文化財調査センター
- N18 北課外活動共用施設
- N19 体育館
- N20 エネルギーセンター



東地区

- E1 実習農場
- E2 環日本海域環境研究センター植物園
- E3 東課外活動共用施設
- E4 弓道場
- E5 厩舎

中地区

- C1 本部棟,保健管理センター,先端科学・イノベーション推進機構
- C2 総合メディア基盤センター
- C3 中福利施設（食堂・売店）
- C4 自然科学５号館【数物科学類,物質化学類】
- C5 インキュベーション施設
- C6 先端科学・イノベーション推進機構
- C7 極低温研究室
- C8 学際科学実験センター アイソトープ理工系研究施設
- C9 地域連携推進センター
- C10 角間ゲストハウス
- C11 国際交流会館

西地区

- W1 角間の里

南地区

- S1 自然科学本館
- S2 自然科学系図書館,南福利施設（食堂・売店）
- S3 自然科学１号館【物質化学類,自然システム学類,薬学類,創薬科学類】
- S4 自然科学２号館【電子情報学類,環境デザイン学類,自然システム学類】
- S5 自然科学３号館【機械工学類】
- S6 がん進展制御研究所
- S7 環境保全センター
- S8 学際科学実験センター
- S9 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー,ハードラボ１
- S10 ハードラボ２
- S11 環日本海域環境研究センター,ハードラボ３
- S12 ハードラボ４
- S13 技術支援センター
- S14 自然科学大講義棟
- S15 研究交流館
- S16 学生留学生宿舎「先魁（さきがけ）」

色塗の番号は計画中

建物配置図

宝町・鶴間キャンパス

鶴間地区

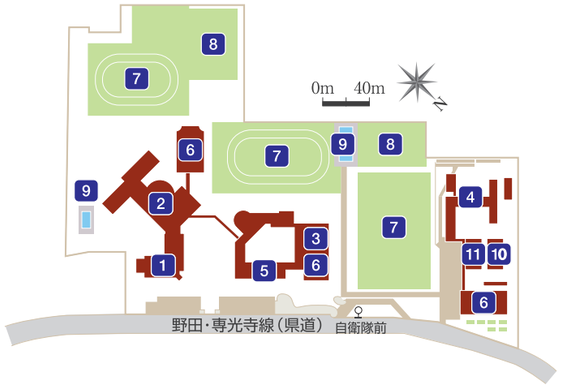
1. 保健学類１号館
2. 保健学類２号館
3. 保健学類３号館
4. 保健学類４号館
5. 保健学類５号館
6. 体育館
7. 保健学類福利施設

宝町地区

1. 旧中央診療棟
2. アネックス棟
3. 医学類臨床研究棟
4. 中央診療棟
5. 外来診療棟，金大病院CPDセンター
6. 医学類C棟
7. 病棟（西病棟／東病棟）
8. ＭＲＩ-ＣＴ棟
9. 看護師宿舎
10. 北病棟
11. 十全講堂
12. 医学類A棟
13. 医学類B棟，子どものこころの発達研究センター
14. 医学類病理標本庫
15. 医学図書館
16. 医学類D棟（全学共用教育研究棟）
17. *遺伝子研究施設
18. 医学類解剖標本庫
19. *実験動物研究施設
20. 医学類E棟
21. 医学類教育棟
22. 医学類F棟
23. 医学類旧書庫
24. 医学類G棟
25. *アイソトープ総合研究施設
26. 医学類福利施設
27. 課外活動施設

★学際科学実験センター

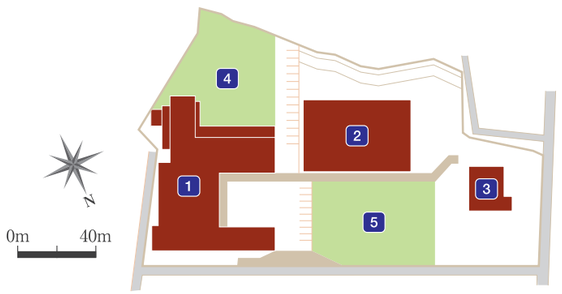
平和町地区



平和町地区

1. 附属幼稚園
2. 附属小学校
3. 附属中学校
4. 附属高等学校
5. 附属学校事務
6. 体育館
7. 運動場
8. テニスコート
9. プール
10. 附属高校創立60周年記念館「有朋館」
11. 武道場

東兼六地区

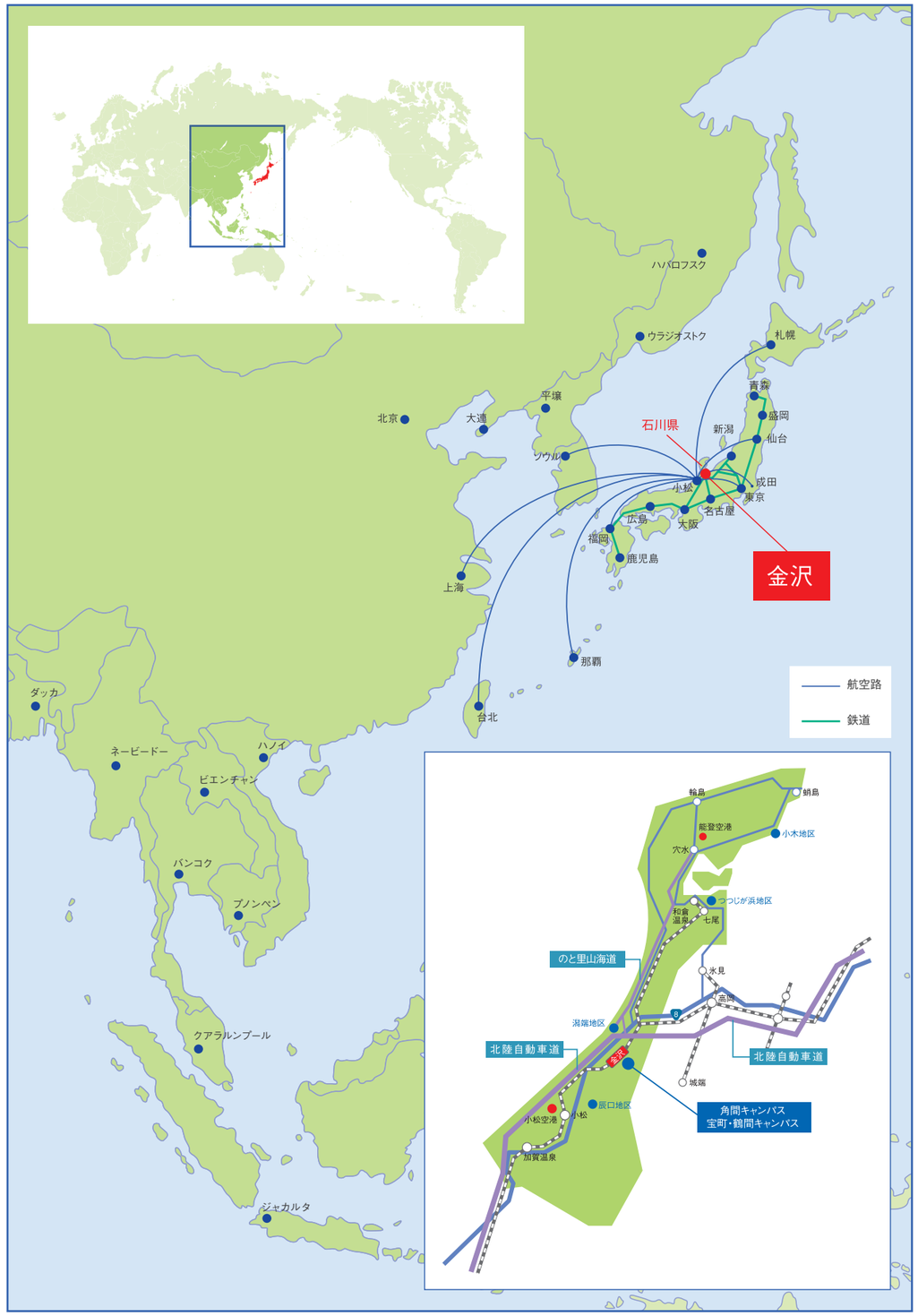


東兼六地区

1. 附属特別支援学校
2. 特別支援学校体育館
3. すずかけの家（日常生活訓練施設）
4. 運動能力育成施設
5. 運動場

キャンパス位置図

石川県・金沢市の位置



金沢市内

東京方面から金沢へのアクセス

●航空機利用
羽田空港→小松空港　所要約1時間
（小松空港→金沢駅は北陸鉄道バスで約1時間）

●JR利用
東京→金沢　上越新幹線，ほくほく線経由
所要約3時間47分
※2015年春，新幹線開通後は最速約2時間半

名古屋方面から金沢へのアクセス

●JR利用
名古屋→金沢　新幹線,特急しらさぎ　所要約2時間40分

大阪・京都方面から金沢へのアクセス

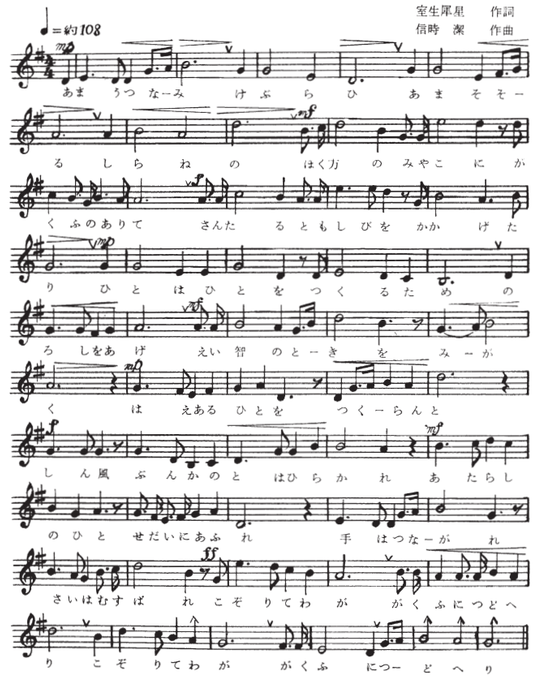
●JR利用
大阪→京都→金沢　特急サンダーバード　所要約2時間40分

金沢駅から主要キャンパスへのアクセス〈北陸鉄道バス利用の場合〉

■角間キャンパス
〈「金沢大学自然研前」,「金沢大学中央」,「金沢大学（角間）」〉まで
所要約34～37分
金沢駅東口⑥乗場→ 91 93 94 97「金沢大学（角間）」行

■宝町・鶴間キャンパス〈「小立野」バス停下車〉まで　所要約20分
金沢駅東口③乗場→11「東部車庫」行など
金沢駅東口⑥乗場→13「湯谷原・医王山」行など
金沢駅西口⑤乗場→10「東部車庫」行など

金沢大学校歌



天うつなみ　けぶらひ
天そそる　白ねの
北方のみやこに学府のありて
燦たる燈をかかげたり

人は人をつくるため
のろしをあげ
慧智の時間を磨く
光栄ある人間をつくらむと

新風文化の扉は開かれ
あたらしの人　世代にあふれ
手はつながれ　才能は結ばれ
こぞりてわが学府につどへり
こぞりてわが学府につどへり

「金沢大学校歌」の制定

室生犀星作詞のこの校歌は，金沢大学の看板のひとつです。1959 年（昭和 34 年）の創立 10 周年事業として作られました。当初，「歌詞は職員・学生から懸賞募集し，作曲は専門家に依頼する」という計画でしたが，評議会で異論が出たため，作詞・作曲とも専門家に任せることになりました。同年 4 月 18 日，戸田学長が犀星に作詞を依頼，また犀星からの要請で作曲は信時潔に依頼しました。依頼から一箇月ほどして校歌が大学に届けられました。

http://www.kanazawa-u.ac.jp/grad/kouka.htm

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

2014年6月発行

【編　集】
金沢大学総務部広報室

【所在地】
〒920-1192　金沢市角間町
TEL.076-264-5024　FAX.076-234-4015
http: //www.kanazawa-u.ac.jp/

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C013678
VEGETABLE OIL INK
2014.6.5500